

20221212

# EdClass イーディークラス フォーマック for Mac

Ver.12.61

---

インストール／操作ガイド

株式会社アルバニクス



**マニュアルの著作権 (C) 2022 ARVANICS Corporation 無断転載を禁ず。**

この文書に書かれている情報は、予告なしに変更されることがあります。ARVANICS Corporation はこの文書を改訂し、随時内容を変更する権利を持ち、改訂や変更をお客様に通知する責務を負いません。

この文書に記述されているソフトウェアは、国際著作権条約で保護されており、ライセンス規約の下に提供されています。ライセンス契約書に記載されている方法でのみ、このソフトウェアを使用することができ、バックアップを目的とする場合に限ってバックアップを作成することができます。

商業的または特定の目的に適合することの保証を含むどのような暗黙的な保証も、ライセンス契約書に明示的に記載されている保証条項に制限されます。

**プログラムの著作権 (C) 1991–2022 NetSupport Ltd. 無断転載を禁ず。**

### 商標

NetSupport は NetSupport Ltd.の登録商標です。

Mac / OS X , 10.10 Yosemite , 10.11 El Capitan

macOS 10.12 Sierra , 10.13 High Sierra , 10.14 Mojave , 10.15 Catalina ,

11 Big sur , 12 Monterey , 13 Ventura

その他の製品、商標、登録商標はそれらを所有する各社に帰属します。

## ソフトウェアライセンス使用許諾契約書

EdClass ソフトウェアをインストールもしくはお使いになる前に本契約書をよくお読みください。本使用許諾契約書は、お客様と ARVANICS Corporation そして NetSupport Ltd 間で締結する法的な契約書です。お客様が本契約書の条件に同意できない場合は、本ソフトウェアを起動、実行、使用することはできません。

**期間:** 解約条項の解除を条件として使用許諾は半永久的なものとする。

**ライセンスの許諾:** 本ソフトウェアはスタンドアロンコンピュータやコンピュータネットワーク上で動作するように設計されています。ネットワークファイルサーバからソフトウェアを起動できますが、ソフトウェアをインストールもしくは実行する各ワークステーション分のライセンスを購入しなければなりません。

**著作権:** 本ソフトウェアは国際著作権保護法により保護されています。バックアップ目的以外製品をコピーすることはできません。ソフトウェアはお客様に使用許諾を与えているものであり販売したものではありません。

**禁止事項:** お客様はライセンス製品を販売、レンタル、リース、あるいは本ソフトウェアのライセンスを第三者に移転することはできません。NetSupport Ltd の事前の承諾書がある場合を除き、本ソフトウェアを変更、アッセンブル、リバースエンジニアリングすることはできません。

**制限保証:** NetSupport Ltd は、付属のマニュアルにしたがって本ソフトウェアが動作しない場合、ご購入後 90 日の間に限り、NetSupport の判断に基づき、a) ソフトウェアの交換 または b) 代金の返還に対応するものとします。但し、お客様が本製品の購入を証明できることを条件とします。

本契約書に規定されていない、特定の目的に対する質や適合性を含むその他の保証は一切いたしません。NetSupport Ltd はいかなる場合において法律上の請求の原因の種類に問わず、本契約書に規定されていないいかなる他の損害(利益、データ、または情報の損失やそのような損害)に対して一切責任を負わないものとします。問題が起こりうる可能性を指摘されているソフトウェアの使用により発生した場合も同様です。いかなる場合においても、NetSupport Ltd の責任はお客様が実際に支払った金額を上限とします。

**解除:** お客様は、プログラム本体、その複製物および書類等すべてを破棄することにより、いかなる時点に於いても本契約を解除することができます。

NetSupport Ltd は、お客様の行為が本契約書の条項に著しく違反すると判断した場合、文書を以って契約解除の通告を行うことができます。お客様は NetSupport Ltd から解除通告文書受領後 30 日以内に本ソフトウェアのオリジナル及びすべての複製物を破壊し、また破棄が行われたことを書面に報告してください。

**サポート:** ソフトウェアのインストールに問題が発生した場合、まずは販売店にお問合せください。修正やアップグレードの提供を保証する保守とサポートを別途ご購入していただくことが可能です。

**準拠法:** 本契約書は英国法により定められています。

## 目次

規則性 .....	5
専門用語 .....	5
<b>インストール</b> .....	<b>6</b>
システム条件 .....	6
インストール前 .....	6
ライセンス .....	6
インストールを開始する .....	7
セットアップの種類を選択 .....	8
<b>EdClass for Mac を起動する</b> .....	<b>10</b>
出席確認 .....	13
生徒を検索して接続する .....	16
教室モードで生徒を接続する .....	17
生徒に接続する .....	17
生徒リストの編集 .....	18
アクティブなセッションからのクライアントの切断 .....	19
タブレット用のライセンス .....	20
サブネット検索を設定する .....	20
EdClass コントロールが IP サブネットを検索できるように設定するには .....	20
<b>EdClass for Mac を使用する</b> .....	<b>21</b>
生徒のマウスとキーボードをロック/ロック解除する .....	22
クライアントをロックする .....	22
クライアントのロックを解除する .....	22
ロック時にクライアント画面をブランク状態にする .....	22
クライアントコンピュータをロック時に画像を表示する .....	23
生徒の画面を見る .....	25
モニタモード .....	27
画面キャプチャ .....	30
画面受信中に生徒の画面をキャプチャする .....	30
生徒に先生の画面を見せる(画面送信) .....	31
生徒とチャットをする .....	33
チャットウィンドウ .....	35
生徒にメッセージを送信する .....	37

画面受信中にメッセージを送信する .....	37
電源管理 .....	38
スリープ中の生徒機の電源を入れる .....	38
生徒機の電源を切る .....	39
生徒を再起動またはログアウトする .....	40
ファイルを転送する .....	41
先生コンソールのファイル転送設定 .....	44
教材の配布と回収 .....	46
教材を配布する .....	46
教材を回収する .....	48
ウェブ監視 .....	50
インターネットへのアクセスを制限 / 禁止 .....	51
アプリケーションの監視 .....	52
アンケート .....	53
アンケートリスト .....	55
<b>生徒のコンピュータの設定を行う .....</b>	<b>57</b>
一般設定 .....	58
ユーザーインターフェース設定 .....	59
拡張設定 .....	60
<b>先生コンソールを設定する .....</b>	<b>61</b>
生徒の選択 .....	62
ネットワーク設定 .....	63
パフォーマンス .....	66
ユーザーインターフェース .....	67
<b>お問い合わせ先 .....</b>	<b>69</b>

## 規則性

以下の規則が本マニュアル内で使用されています：

- ステップバイステップの説明で使用方法の題目の下に番号順の操作内容が表記されています。
- タスクの操作方法が何通りか存在する場合は「または」のオプションで操作方法を紹介しています。
- それぞれの説明に関してヒントや補足説明がある場合は「注意」と題し境界線の下に説明を明記しています。
- メニューコマンドの項目は括弧で囲って順番に操作します。例: [クライアント][ブロードキャスト]

## 専門用語

コントロール/先生	他のコンピュータを操作するコンピュータを指します。
クライアント/生徒	操作されるコンピュータを指します。
利用可能なクライアント	コンピュータにクライアントをインストールすると、コントロールに接続可能な状態になります。コントロールが接続する前にクライアントは接続可能な状態になっている必要があります。
既知のクライアント	利用可能なクライアントを検索すると、EdClass は Client.NSS ファイルにクライアントのリストを保存します。それが既知のクライアントです。
接続中のクライアント	全ての利用可能なクライアントまたはグループに同時に接続できません。接続しているクライアントに対してコントロールはリモートコントロール可能です。
選択したクライアント	接続中のクライアントを選択すると、“1対1”のセッションが確立されます。そのクライアントに対してコントロールはクライアントを画面受信、画面送信、メッセージ送信など行うことが可能です。コントロールは選択したクライアント画面、キーボード、マウスを観察、制御、共有ができます。コントロールは接続中の複数のクライアントを順番に選択して操作ができます。

## インストール

### システム条件

#### Mac

プロセッサ: Intel プロセッサ搭載の Mac コンピュータ

オペレーティングシステム: Mac OS X 10.10、10.11、

macOS 10.12、10.13、10.14、10.15、11、12、13 64bit

※インストールを行うには、管理者権限パスワードが必要です。

### インストール前

#### 生徒用環境設定

EdClass for Mac で設定した生徒が既にある場合、Client32.ini ファイルをコピーしてインストーラの隣にこれを配置します。これは、既に設定済みの生徒で適用した同じ構成設定で生徒をインストールします。

Client32.ini がある場所:

/Applications/IDK/IDKEdClass

### ライセンス

NSA.LIC ファイルのコピーがある場合、インストーラの隣にこれを配置します。これはインストール中にライセンス情報を入力せずに EdClass for Mac のライセンスのコピーをインストールします。

---

**注意:** MacOS 10.15 以降では上記のライセンス情報を入力しないインストール方法はご使用できません。通常のインストール手順に沿ってインストールを進めてください。

---



### インストールを開始する

インストールを開始するには、EdClassforMac.dmg ファイルをダブルクリックして、ディスクイメージをマウントします。

マウントしたディスクイメージ内にある EdClass 12.61.app ファイルをダブルクリックします。

### EdClass ライセンス使用許諾書

EdClass for Mac の使用許諾書が表示されます。ライセンス使用許諾書を注意してお読みいただいた上で、同意します を選択して次へ をクリックします。

ライセンス使用許諾に同意しない場合は、キャンセルをクリックしてください。EdClass for Mac はインストールされずに、インストールプログラムを終了します。

### ライセンス情報

登録 を選択して 次へ をクリックします。

ファイルの選択欄で、ご購入後にご案内しているライセンスファイル「\*\*\*.LIC」を選択し、次へ をクリックします。

評価版をインストールする場合は、30 日間の評価を選択して次へをクリックしてください。

### 既にインストールされていたら

EdClass for Mac がコンピュータに既にインストールされている場合、この画面が表示されます。

インストーラは入力を要求します。続行する場合は、既にシステムにある EdClass for Mac ファイルを自動的にアンインストールしてインストールを続行するには、[OK]をクリックします。

---

**注意：** 環境設定とライセンスファイルは削除されません。

---

## セットアップの種類を選択

使用する機能に合わせて最適なセットアップタイプを選択します。



### 標準

このオプションは先生、生徒、生徒用環境設定、そしてヘルプファイルをインストールします。このオプションは多くの場合「フルインストール」と呼ばれます。

### 生徒

生徒用のソフトウェアと生徒用の構成設定をインストールします。この機能は、クライアントとも呼ばれ、リモートコントロールされるワークステーションにインストールする必要があります。

### 先生

先生用のソフトウェアをインストールします。このコンポーネントはコントロールともいい、他のコンピュータをリモートコントロールする側のコンピュータで使用します。

### 部屋の確認

生徒のコンピュータを検索したい部屋名を入力します。デフォルトでは、Eval という部屋名が入力されています。インストール後に、先生または生徒の環境設定にて、部屋名を変更することが可能です。

---

**注意:** 新しくインストールする時のみ、部屋名の入力を求められます。アップグレードしたシステムでは、既存の部屋名を維持します。

---

### プログラムのインストール

インストールを開始するには、インストール をクリックします。選択した内容を変更する場合は、戻る をクリックします。インストールを中止する場合は、キャンセルをクリックします。

### Dock にアイコンを追加する

先生をインストールする場合、先生アイコンを dock に追加するオプションがあります。

### インストール完了

終了 をクリックしてセットアッププログラムを終了します。

### EdClass 権限ユーティリティ

EdClass のフル機能を使用するために、端末側の許可をする必要があります。画面に表示された[セット]をクリックすると設定変更画面が表示されますので、設定を変更してください。

---

**注意:** EdClass のフル機能を使用する場合は端末側の許可が必要です。

「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」の プライバシー タブの以下の項目にて EdClass の制御を許可してください。

- ・アクセシビリティ
  - ・フルディスクアクセス
  - ・ファイルとフォルダ
  - ・画面収録
-

### EdClass for Mac を起動する

この章では EdClass for Mac の開始方法を紹介します。

EdClass for Mac を使用する上で覚えておかなければならないポイントは、他のコンピュータを操作するコンピュータのことをコントロールまたは先生と呼び、操作されるコンピュータのことをクライアントまたは生徒と呼びます。

---

**注意：** このセクションは既に EdClass for Mac をインストールされていることを前提としています。もしまだの場合は、インストールセクションを参照してください。

---

インストール後、システムが起動すると生徒ワークステーションのクライアントプログラムが自動的に起動します。

先生プログラムを起動するには、Dock から先生アイコンをクリックします。

---

**注意：** 先生の設定で起動時に接続するクライアントを指定できます、コントロールウインドウのメニューから {ファイル}{環境設定}{生徒の選択} を選びます。

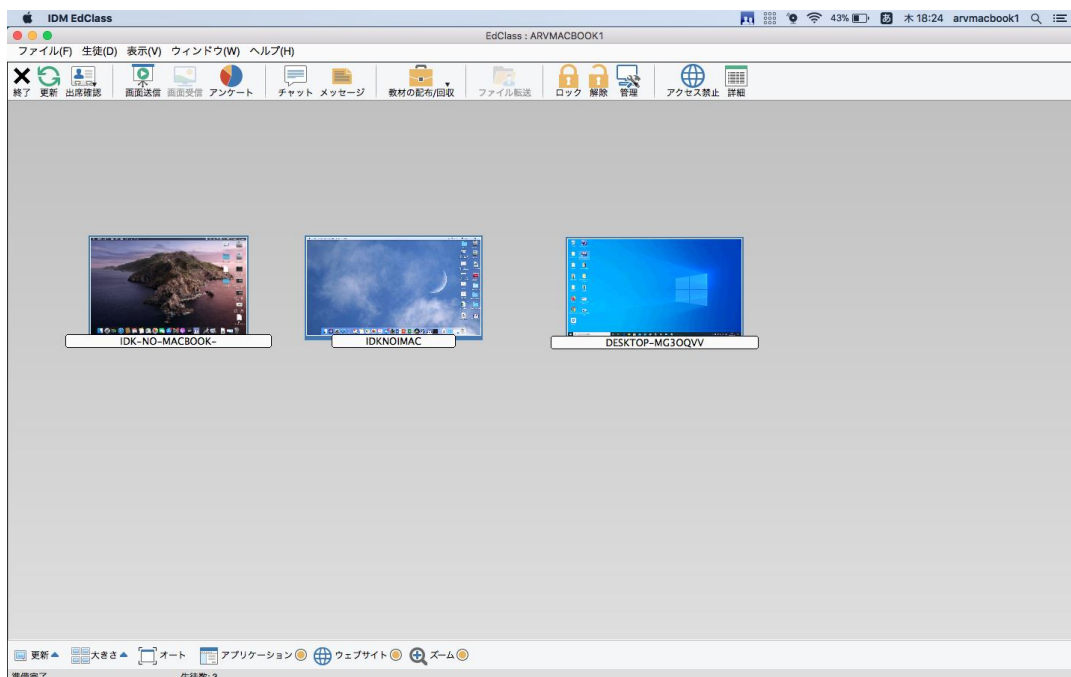
---

先生プログラムを起動すると、指定した生徒をネットワーク検索します。検索中は検索メッセージが表示されます。

## コントロールウィンドウ

主な役割：

- ・ コントロールを設定する
- ・ 生徒のコンピュータに接続する
- ・ クライアント情報を管理する
- ・ 操作する生徒のコンピュータを選択する
- ・ 実行する操作を選択する



## タイトルバー

コントロール名が表示され、これが EdClass for Mac のコントロールウィンドウであることを示しています。

## メニューバー

ファイル(F) 生徒(D) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

メニューバーは豊富なツールや設定ユーティリティにアクセスできるメニューの集まりで構成されています。これらのメニューは一緒に操作をする生徒を選択するだけでなく、ワークグループに生徒をまとめ、管理する際にも使用します。

## ツールバー



使用頻度の高いタスクやツールへのショートカットで構成されています。アイコンをクリックするだけで、素早くタスクや機能を実行できます。アイコン上にマウスポインタを重ねると、その機能の簡単な説明を表示します。

## 一覧表示



一覧表示は、現在接続中の生徒機またはグループが表示されます。コントロールウィンドウの{表示}ドロップダウンメニューから、縮小画面モードと詳細モードの表示モードを切り替える事ができます。

**注意：** 生徒名は出席確認機能を使ってカスタマイズすることも可能です。

## ステータスバー

準備完了 生徒数: 3

ウィンドウの下部にステータスバーを表示します。コントロールの状態、接続中の生徒数が表示されます。

ステータスバーを有効/無効にするには、{表示}{ステータスバー}を選びます。

### 出席確認

デフォルトでは EdClass for Mac は、コントロールウィンドウにクライアントコンピュータのコンピュータ名を表示します。出席確認機能では、実際の生徒名を表示したり、追加情報を生徒に入力させたりすることが可能です。

#### 生徒にログインダイアログを表示する:

1. 特定の生徒の情報が必要な場合は、コントロールウィンドウの該当するクライアントアイコンを選択します。また、クライアントアイコンを選択していない場合は、接続しているすべての生徒に入力要求をします。
2. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][登録][サインイン]を選択します。  
または  
ツールバーの出席確認アイコンをクリックします。
3. 利用可能なオプションからサインインを選択します。
4. 出席確認ダイアログが表示されます。先生は生徒が入力する情報を選択できます。

## 出席確認ダイアログ

このダイアログは生徒が入力する登録フォームを作成します。

生徒の出席確認 - すべての生徒

クライアント名	名前	姓	教室	生徒 ID/No.
MACSTUDENT1				
MACSTUDENT1-4				
MACSTUDENT2S-...				
SG99				

確認(R)  
閉じる  
キャンセル

教室の詳細

先生の名前:  
授業の名前:  
部屋:  
Japanese

取得する生徒の情報

ログオンユーザー名を取得する  
 名  
 姓  
 クラス  
 生徒 ID/No.

自動的に出席確認を保存する

## 教室の詳細

生徒に送信する登録フォームに先生名、授業名、教室名を含めることができます。

**注意:** 教室モードで生徒に接続している場合は、教室フィールドが開始時に指定した教室を表示します。これは変更できません。

## 取得する生徒の情報

生徒が入力する内容を選択します。フォームにフィールドを2つ追加することもできます。

**注意:** 「ログオンユーザー名を取得する」を選択した場合、姓名はグレイアウトになり、生徒名は自動的にログイン名を取得します。

## 自動的に出席確認を保存する

出席確認の詳細はレポートで確認できますが、コントロールが切断するとその内容は消えてしまいます。レポートのコピーを保存したい場合は、このオプションにチェックを



します。ファイル名、保存先、ファイルフォーマット(CSV,HTML, XML)を入力します。

**確認** をクリックして生徒にフォームを送信します。生徒の進行状況をモニタリングできます。全生徒がサインインしたら **閉じる** をクリックします。コントロールウィンドウのクライアントアイコンが登録した名前が表示されます。

### サインアウト

サインアウトオプションを使用することで授業終了時にクライアント名をリセットすることができます。

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][出席確認]を選択します。  
または  
ツールバーの出席確認アイコンをクリックします。
2. オプションからサインアウトを選択します。生徒の登録削除を確認します。

### 出席確認レポート

出席確認の詳細はレポートに保存することができます。レポートを保存するには、[自動的に出席確認を保存する]の設定が有効になっている事を確認してください。レポートは CSV, HTML、XML 形式で保存可能です。

### 生徒のログイン名を表示するには

出席確認時に生徒に名前を入力させずに生徒のログイン名をデフォルトにすることができます。

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][環境設定 - ユーザーインターフェース]を選択します。
2. [生徒のユーザー名を表示する] にチェックを入れます。
3. OK をクリックします。

### 生徒のログイン名を保存するには

生徒のログイン名を保存することができます。

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][環境設定 - ユーザーインターフェース]を選択します。
2. [生徒のユーザー/ログイン名を記憶する] にチェックをします。
3. OK をクリックします。

### 生徒を検索して接続する

コントロールウィンドウのメニューから{ファイル}{環境設定}のコントロール設定ダイアログを使用して、開始時の接続方法と接続するクライアント(生徒機)を指定できます。

- ネットワークを検索し、特定の名前のクライアントに接続する。
- クライアントリストに接続する。
- 特定の教室のクライアントに接続する。

---

**注意:** クライアントが見つからない場合は、指定したネットワークを検索するように設定していない可能性があります。詳しくは [サブネット検索の設定](#) を参照してください。

---

#### クライアントを検索して接続するには

1. メニューから[ファイル][環境設定]を選択します。
2. [生徒の選択]を選択します。
3. [次の文字で始まる生徒を検索して接続する] にチェックをします。
4. 接続したいクライアント名の最初の文字列を入力します。例えば、Class1と入力するとクライアント名が Class1で始まる全コンピュータに接続します。
5. OK をクリックします。
6. はい をクリックしてコントロール設定を有効にします。
7. 見つかった全クライアントに接続し、コントロールウィンドウにアイコンを表示します。クライアントはクライアントリストに追加されます。

---

#### 注意:

- コントロール初期化時にクライアントが利用可能でない場合は、画面上部の **更新** をクリックすると再接続できます。
  - 接続時にクライアントコンピュータ上にメッセージを表示させることもできます。本マニュアルの [生徒のコンピュータの設定を行う](#) を参照してください。
-

### 生徒リストのクライアントに接続するには

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][環境設定]を選択します。
2. 生徒の選択を選択します。
3. 生徒リストに接続する にチェックをします。
4. OK をクリックします。
5. はい をクリックしてコントロール設定を再起動します。
6. コントロールは見つかった全クライアントに接続してコントロールウィンドウにアイコンを表示します。クライアントリストに追加されます。

### 教室モードで生徒を接続する

教室モードを使用すると、特定の教室の生徒を簡単に接続することが可能です。予め教室を定義しておけば、先生は授業の開始時に接続したい教室を選択するだけで生徒と接続できます。

部屋設定は、EdClass クライアント設定の生徒項目でも設定が可能です。

### 生徒に接続する

1. コントロールウィンドウのメニューから、[ファイル][環境設定]を選択します。
2. [生徒の選択]の項目を選択します。
3. [部屋の生徒に接続する]をクリックし、生徒が割り当てられている教室名を入力します。
4. 先生プログラムの起動時に、教室名を入力したい場合は、[開始時に入力する]にチェックを入れます。
5. [OK] をクリックします。
6. [はい] をクリックして、先生の設定を再起動します。
7. 生徒を検索し、コントロールウィンドウに生徒のアイコンが表示されます。

### 生徒リストの編集

生徒リストの編集 はネットワーク上で検出した接続可能な生徒の一覧です。この情報は Client.NSS ファイルに保存されます。リスト編集ダイアログでリストを更新できます。

---

**注意:** 生徒リストの編集ダイアログは、固定リストモードまたは教室モードの発行を使用するときだけ利用できます。EdClass の先生構成設定で、これらのモードを切り替えることが可能です。

---

#### 生徒リストにクライアントを追加するには

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][生徒リストの編集]を選択します。
2. 生徒リストの編集ダイアログが表示されます。
3. 検索ボタンの左のテキストボックスに、クライアントのコンピュータ名の頭文字を入力します。
4. 検索をクリックします。
5. 検索メッセージが表示されます。
6. 頭文字に一致する全クライアントが接続可能な生徒リストに表示されます。
7. それらのアイコンを選択して追加をクリックします。
8. これでクライアントはリストの一部となります。
9. 閉じるをクリックします。
10. クライアントに再接続してコントロールウィンドウに生徒アイコンを表示します。

#### リストからクライアントを削除するには

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][生徒リストの編集]を選択します。
2. 生徒リストの編集 ダイアログが表示されます。
3. 生徒リストからクライアントアイコンを選択します。
4. 削除をクリックします。
5. 生徒リストから除外され、選択できる生徒に移動します。
6. 閉じるをクリックします。
7. コントロールウィンドウからクライアントアイコンが削除されます。

---

**注意:** 削除したクライアントに再接続するには、検索してリストに追加する必要があります。

---

### アクティブなセッションからのクライアントの切断

アクティブセッション中に、生徒がコンピュータを再起動し、接続が切断されてしまう場合があります。生徒が切断された場合、切断メッセージが表示されるようになっていますが、設定で無効にすることが可能です。

#### 切断メッセージを無効にする

1. メニューから[ファイル][環境設定 - ユーザーインターフェース]を選択します。
2. [サイレント切断]にチェックをいれます。次回から生徒が切断されてもメッセージは表示されません。

---

**注意:** 生徒に自動的に再接続するには、先生のユーザーインターフェース設定の [自動的に生徒を再接続する]オプションが選択されている必要があります。

---

### タブレット用のライセンス

EdClass 先生に接続する各タブレット端末は、ライセンスが必要です。タブレット端末のライセンスは、通常の EdClass for Mac ライセンスと共通になります。

通常コンピュータとタブレット端末を合わせた台数分のライセンスをご購入ください。

### サブネット検索を設定する

お使いのネットワークが複数の TCP/IP サブネットから構成されている場合は、クライアント検索時に追加サブネットを使用するように設定する必要があります。

リモート IP サブネット上を検索できるように設定する前に、IP アドレスの構成と IP ブロードキャストアドレスとは何かを理解しておくと便利です。詳しくは「IP アドレスを理解する」を参照してください。

#### EdClass コントロールが IP サブネットを検索できるように設定するには

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][環境設定]を選択します。
2. 設定オプションから 全般 を選択します。
3. TCP/IP クライアント検索ダイアログが表示されます。
4. 追加をクリックして検索したいネットワークのブロードキャストアドレスを入力します。
5. OK をクリックします。

---

#### 注意:

- リモートサブネットのアドレスを追加する時は、ローカルサブネットのブロードキャストアドレスも表示されていることを必ず確認してください。表示されていない場合は、ブラウズ時にコントロールはローカルクライアントを検索しません。
  - お使いのネットワークルーターによっては LAN 接続のブロードキャストパケットを遮断してしまう場合があります。この場合は、コントロールが正しく設定されていてもリモートサブネットを検索することはできません。
-

### EdClass for Mac を使用する

この章では…

コントロールユーザーが利用可能な豊富な機能の使い方を解説します。リモートコントロールの始め方からエンドユーザーのデスクトップのモニタや操作の管理方法までを解説します。

### 生徒のマウスとキーボードをロック/ロック解除する

クライアントのマウスとキーボードをロックします。ロック/ロック解除ができるのは接続中のクライアントに対してのみになります。

また、キーボードとマウスは必要に応じて個別にロックできます。メニューから[表示][現在の設定 - ユーザーインターフェース]を選択します。

### クライアントをロックする

1. ロックしたいクライアントまたはクライアントグループを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから[生徒][キーボード/マウスのロック]を選択します。  
または  
ツールバーから[ロック]アイコンを選択します。  
または  
選択したクライアントのアイコンを右クリックして[ロック]を選択します。
3. デフォルトではマウスとキーボードのロックを通知する画像がクライアントコンピュータに表示されます。

---

**注意:** 代わりにクライアントの画面を空白(ブランク)にすることも可能です。

---

### クライアントのロックを解除する

コントロールウィンドウのメニューから[生徒][キーボード/マウスの解除]を選択します。

または

ツールバーから[解除]アイコンを選択します。

または

選択したクライアントアイコンを右クリックして[キーボード/マウスの解除]を選択します。

---

**注意:** ロックはログアウトしている生徒では機能しません。

---

### ロック時にクライアント画面をブランク状態にする

1. メニューから[ファイル][環境設定 - ユーザーインターフェース]を選択します。
2. キーボードとマウスをロック中はブランク画面にする をチェックします。
3. OK をクリックします。



4. ロックしたいクライアントまたはグループを選択します。
5. コントロールウィンドウのメニューから[クライアント][キーボード/マウスのロック]を選択します。  
または  
ツールバーから[ロック]アイコンをクリックします。

---

**注意:** ブランク画面はログアウトしている生徒では機能しません。

---

### クライアントコンピュータをロック時に画像を表示する

先生がロック機能を使用すると生徒の画面上に画像を表示させることができます。クライアントのキーボードとマウスがロックされると、デフォルト画像 `nss_lock_image.png` が画面に表示されます。



1. メニューから[ファイル][環境設定 - ユーザーインターフェース]を選択します。
2. キーボードとマウスのロック中は画像を表示する を選択します。
3. OK をクリックします。
4. ロックしたいクライアントまたはグループを選択します。
5. メニューから[生徒][キーボード/マウスのロック]を選択します。  
または  
ツールバーからロックアイコンをクリックします。

---

#### 注意:

- ロック中のクライアント画面を受信すると、ロック画像の表示は解除になります。
  - 画像ファイルがクライアントコンピュータ上にない場合は、フラッシュメッセージ「このマシンはコントロールユーザーによってロックされています」が表示されます。
  - ログアウト中のクライアントにはロック画像は表示されません。
-

クライアント設定を使って画像を変更することができます。

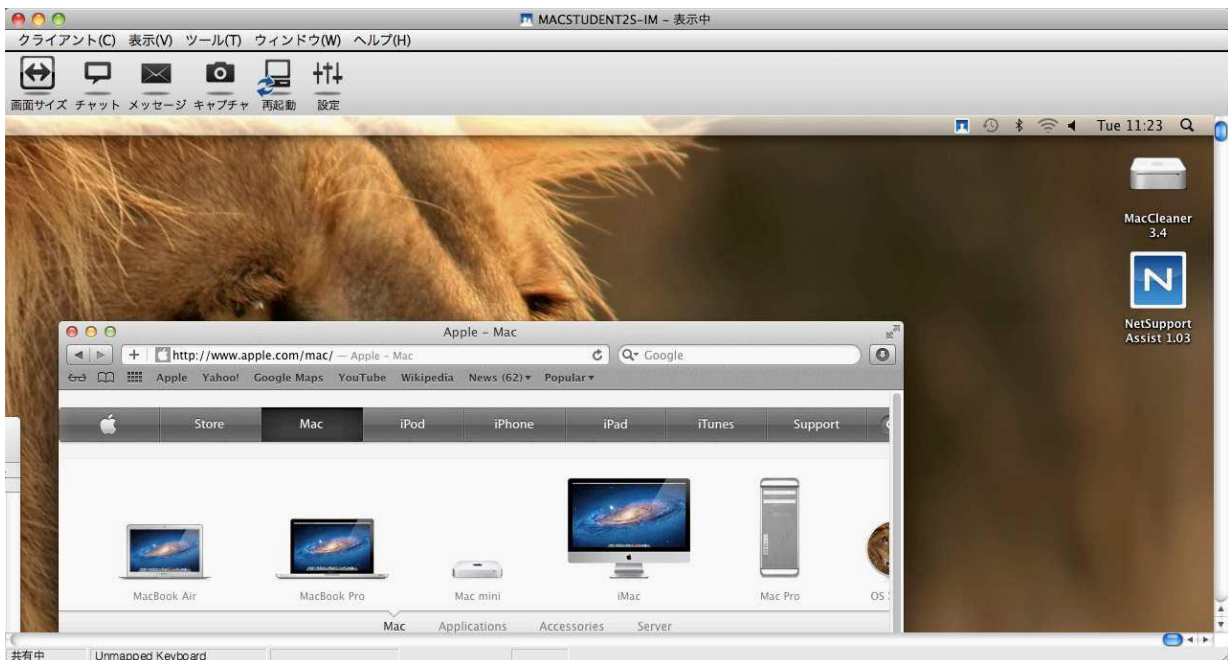
1. クライアント設定で[拡張 - 画像オプション]を選択します。
2. イメージオプションのイメージファイルに既定のファイルが表示されます。
3. 参照 をクリックしてファイルを選択して開く をクリックします。
4. 画像ファイルは新しいファイルを表示します。
5. OK をクリックします。

## 生徒の画面を見る

生徒に接続すると、その生徒の画面を先生で見ながらリモートコントロールできるようになります。この状態を画面受信といい、生徒の画面が表示されるウィンドウ画面を受信ウィンドウといいます。複数の生徒のビューウィンドウを同時に表示することができます。

### クライアント画面を受信するには

1. リストビュー内のクライアントアイコンをダブルクリックします。  
または  
クライアントとアイコンを選択した状態でコントロールウィンドウのメニューから[生徒]-[表示]を選択します。  
または  
コントロールツールバーの画面受信アイコンをクリックします。  
または  
クライアントアイコンを右クリックして、ビューを選択します。
2. コントロールにクライアント画面受信ウィンドウが表示されます。



### 画面受信を終了してコントロールウィンドウに戻るには

1. ビューウィンドウのメニューから[クライアント][閉じる]を選択します。

画面受信には2つのモードがあります。

- 共有** クライアントの画面がコントロールとクライアント両方に表示されます。コントロールとクライアントともにキーボード入力とマウス操作を行えます。
- 観察** クライアントの画面がコントロールとクライアント両方に表示されます。クライアントだけがキーボード入力とマウス操作を行えます。コントロールは一切の操作を行えません。

画面受信モードを変更するには

1. クライアントの画面受信中にツールバーの画面受信アイコンをクリックし、共有、観察のどれかを選択します。  
または  
ビューウィンドウのメニューから[クライアント][共有/観察]を選択します。

その他のビューウィンドウオプション:

**画面サイズ**

生徒の画面解像度が先生の画面解像度より大きい場合、先生のビューウィンドウに合わせて画面サイズを調整できます。ビューウィンドウで[表示]メニューの[画面サイズ]をクリックするか、ツールバーの[画面サイズ]アイコンをクリックします。

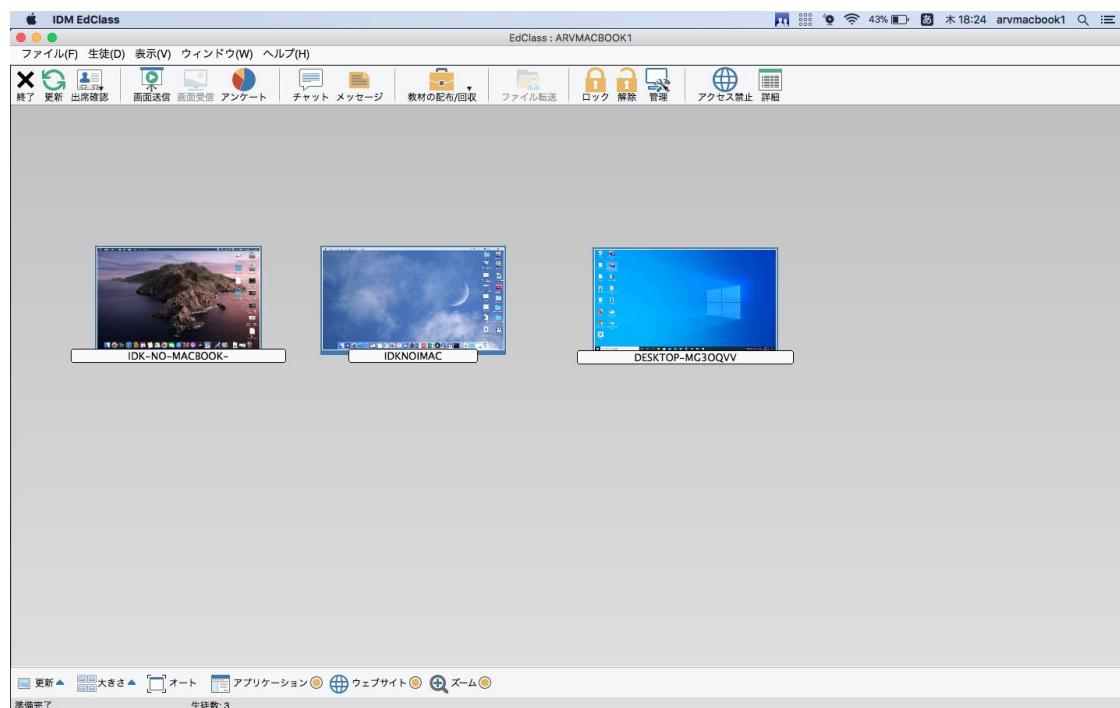
---

**注意:** 生徒コンピュータがMacOS 10.14の場合、共有モードは使用できません。観察モードのみご使用いただけます。

---

## モニタモード

デフォルトの先生画面のモニタモードでは、先生は同時に複数の生徒画面を表示することが可能です。



接続中の各生徒の画面を便利なサムネイル表示で先生に表示するので、素早く簡単な方法で生徒の行動をモニタできます。モニタモード中でも先生はそのまま画面受信、チャットといった機能にアクセスできます。

マウスを縮小画面に重ねると、その画面を拡大することができます。縮小画面をダブルクリックすると、選択した生徒画面を受信します。また、右クリックからも選択することが可能です。

リストビューはいくつかの異なる方法で生徒アイコンを表示させることができます。[表示] [縮小画面モード/詳細モード]を選択するか、リストビュー内で右クリックして生徒アイコンの表示の仕方を変更します。

---

**注意：**ズーム機能はメニューから[表示] [ズームモード]を選択することでオン/オフの切り替えが可能です。また、コントロールウィンドウ下部の[ズームイン]アイコンをクリックでも切り替えが可能です。

---

モニタモードには以下のツールがあります。

### レイアウトに(自由に)配置

実際の教室の配置の様に、表示している生徒の画面を並べ替える事が可能です。

1. 希望の配置に生徒の縮小画面を並べ替えます。
2. 次回、先生コンソールを開く時に、コントロールウィンドウのメニューから、[表示][自由に配置]を選択します。
3. 生徒の縮小画面が最後に記憶した配置に戻ります。

---

**注意:** デフォルトのレイアウトに戻すには、コントロールウィンドウのメニューから{表示}{自動配置}を選択します。

---

### 縮小画面サイズの変更

お好みに応じて生徒サムネイルのサイズ変更ができます。多数の生徒コンピュータに接続している時に便利です。

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示][大きさ]を選択します。
  2. オプションからお好みのサイズを選択します。
- または、
1. コントロールウィンドウ下部にある{大きさ}アイコンをクリックします。
  2. スライダーを左右に動かして大きさを選択します。

### 生徒サムネイルの自動サイズ調整

ウィンドウに収まるように表示中のサムネイルのサイズを自動的に調整します。

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示][オート]を選択します。
- または
- コントロールウィンドウ下部のオートアイコンをクリックします。

### サムネイルの更新間隔を変更

サムネイルの更新間隔を調整することができます。

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示][更新]を選択します。
- または
- コントロールウィンドウ下部の更新アイコンをクリックします。
2. オプションから更新間隔を選択します。

### アクティブなアプリケーションを表示

有効にすると、サムネイルの左上に生徒のコンピュータでアクティブになっているアプリケーションを確認できます。

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示][アプリケーションの表示]を選択します。  
または  
コントロールウィンドウ下部の[アプリケーション]アイコンをクリックします。

### アクティブなウェブを表示

各サムネイルの右上に生徒が閲覧しているサイトがわかるようにアイコンを表示します。

1. コントロールウィンドウのメニューから[モニタ][ウェブサイトの表示]を選択します。  
または  
コントロールウィンドウ下部の[ウェブサイト]アイコンをクリックします。

### 画面キャプチャ

先生は画面受信中の生徒画面のスナップショットを撮影し、ファイルに保存することができます。生徒名、日付、時間と製品名が画面情報に記録されます。

#### 画面受信中に生徒の画面をキャプチャする

1. 生徒画面を表示し、[ツール][画面キャプチャ]を選択して画面の内容を撮影します。  
または  
ツールバーの[キャプチャ]アイコンをクリックします。
2. 名前を付けて保存ダイアログが表示されます。
3. ファイル名を入力します。
4. BMP, PNG, JPG ファイルの 3 つの形式から1つを選択します。
5. 保存をクリックします。



## 生徒に先生の画面を見せる(画面送信)

画面送信機能は、選択したクライアントまたはグループに対して先生コンピュータの画面を表示することで、学習のキーポイントを強調することができます。

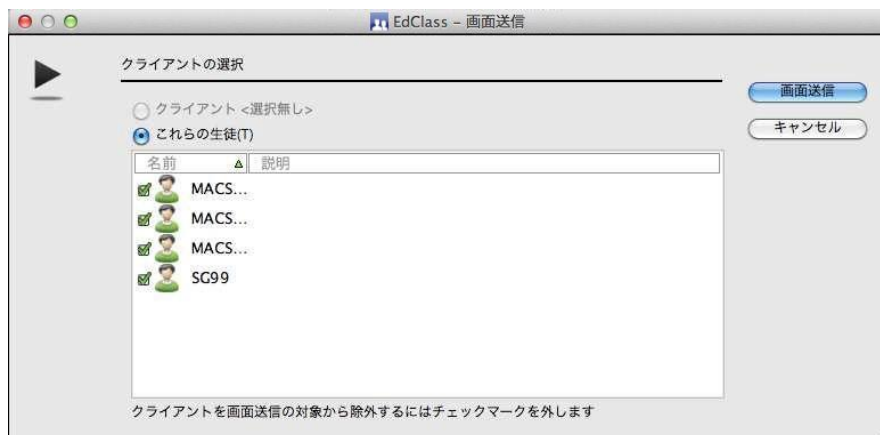
**注意:** 画面情報は順番に各クライアントに送信されます。ネットワーク帯域が限られているネットワーク環境の場合または大多数のコンピュータに画面送信を行っている場合、パフォーマンスに影響があります。このような状況の場合、画面の一齐送信を有効にします。これにより一齐に全コンピュータに画面情報を送信するようになります。

EdClass For Mac で発生するネットワークトラフィック量は減少しますが、ネットワークに追加ブロードキャストパケットが発生します。この機能を使用する前に、ネットワーク管理者と相談することをお勧めします。

---

### コントロール画面を見せるには

1. コントロールウィンドウのメニューから[生徒][画面送信]を選択します。  
または  
コントロールツールバーの画面送信メニューアイコンをクリックします。
2. 画面送信ダイアログが表示されます。



### クライアントの選択

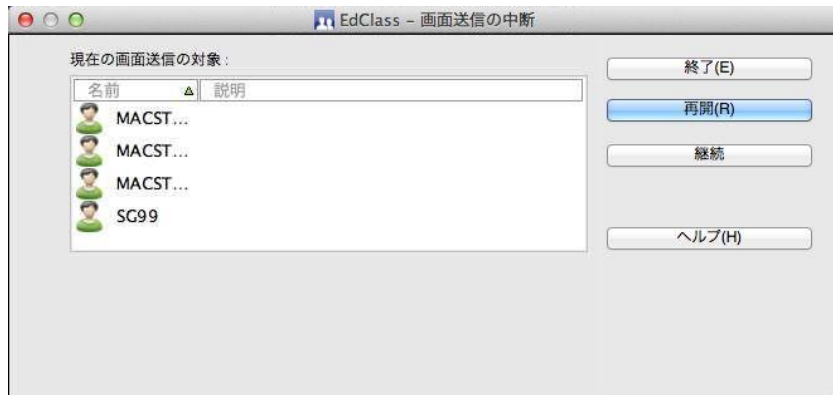
先生の画面を見せるクライアントを選択します。

**注意:** ログアウトしている生徒には画面送信を実行することはできません。

---

### 画面送信を終了するには

1. タスクバーの画面送信アイコンをクリックします。
2. 画面送信ダイアログを表示します。



3. 終了をクリックします。

または

1. タスクバーの EdClass アイコンをクリックします。
2. [画面送信の終了] をクリックします。

### 画面送信中にバックグラウンドでコントロールが作業できるようにするには

1. タスクバーの画面送信アイコンをクリックします。
2. 画面送信ダイアログが表示されます。
3. 継続をクリックします。
4. コントロールウィンドウが表示されタイトルバーに一時停止と表示されます。作業内容をクライアントに見せることなくコントロールコンピュータを引き続き使用できます。クライアント画面には中断前の画面送信画面が表示されます。

### 一時停止から画面送信を再開する

1. タスクバーの一時停止をクリックします。
2. クライアントには、コントロールの現在表示している画面が表示されます。
3. コントロールウィンドウに画面送信ダイアログが表示され、そこから画面送信の終了、再開、継続を選択することができます。

### 一時停止中に画面送信を終了するには

1. コントロールウィンドウのメニューから[生徒][画面送信終了]を選択します。
2. クライアントは自身の画面に戻ります。

## 生徒とチャットをする

テキストウィンドウを使って接続中の生徒とチャットが可能です。

**注意:** チャットはログアウトしている生徒には機能しません。

### クライアントとチャットをするには

1. チャットしたい生徒またはグループを選択します。選択しなかった場合は、接続中の全生徒が対象となります。
2. コントロールのメニューから[生徒][チャット]を選択します。  
またはあ  
コントロールツールバーのチャットアイコンをクリックします。  
または  
クライアントを右クリックしてチャットを選択します。
3. チャットダイアログが表示されます。



チャットプロパティダイアログには次のオプションがあります:

### 話題

チャット中に会話するタイトルまたは説明を入力します。生徒コンピュータに表示されるチャットウィンドウに表示されます。空欄にすると、コントロール名が表示されます。

### メンバー

チャットからクライアントを除外するには、生徒名の隣のチェックマークを外します。

## オプション

### メンバーは参加を辞退できる

チェックをすると、チャットに詳細しているクライアントコンピュータにメッセージが表示されます。参加か辞退を選択します。

### メンバーはチャットを退出できない

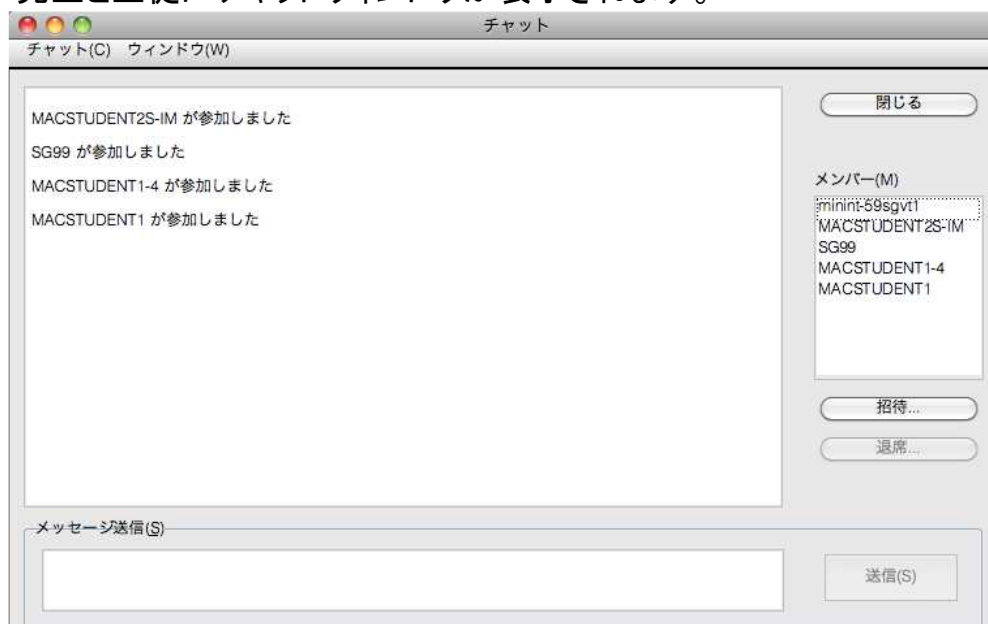
チェックをすると、チャットを辞退するクライアントのオプションは削除されます。

### チャットウィンドウを常に表示する

チェックをすると、チャット中はクライアントのデスクトップ上にチャットウィンドウが表示され続けます。メンバーはウィンドウサイズを変更できません。

どの生徒がチャットに含まれているかを確認し、適用すべき追加のオプションを選択したら、OK をクリックしチャットを開始します。

## 4. 先生と生徒にチャットウィンドウが表示されます。



### チャットウィンドウ

参加メンバーにこのウィンドウが表示されチャットの進行の一覧が表示されます。コントロールのみがクライアントを追加したり削除したりできます。

チャットプロパティダイアログでオプションを無効にしない限り、クライアントはチャットの退席を選択できます。

チャットウィンドウでは次のオプションが利用できます:

#### チャットメニュー

チャットの内容を保存できます。

名前を付けて保存を選択してファイルを作成するかコピーを選択してチャットの内容を他のアプリケーションまたはファイルに保存できます。

各メッセージは、128 文字以内に制限されています。ロングメッセージの自動送信にチェックを入れると、上限に達したメッセージを自動的に送信することができます。

学習ノートに追加するを選択すると、チャットの内容を生徒の学習ノートに保存ができます。

#### ウィンドウメニュー

コントロールだけにウィンドウメニューがあります。このメニューで画面を開いたりタイトル表示したりできます。

#### チャット進行

チャットウィンドウのメインです。これはチャットセッションの進行を記録しています。参加、退室した生徒の詳細やメンバーによって送られたメッセージを管理します。

#### メッセージ送信

ここに内容を入力します。メッセージを入力して送信 をクリックするか、エンターキーを押します。各自のメッセージは、128 文字に制限されています。

文字数の上限に達するとメッセージを自動的に送信することができます。チャットウィンドウのメニューから[チャット][ロングメッセージの自動送信]を選択します。

#### 閉じる

チャットを終了します。

### メンバー

チャットに参加しているメンバーがここにリストされます。先生はチャットセッションから生徒を追加したり削除したりできます。無効にしない限り、クライアントは自分達でチャットを退出するオプションがあります。

### 招待

チャットプロパティダイアログはチャットセッションの対象クライアントを選択する時に使用します。チャットが進行中にクライアントを追加するには、招待をクリックします。メンバー追加ダイアログが表示されるのでクライアントを選択して追加をクリックします。履歴の送信にチェックをすることで新メンバーにチャットの内容を送信することができます。

### 退席

チャットからクライアントを除外するには、メンバーリストでクライアントを選択して退室を選択します。退室させたクライアントを再び招待することも可能です。

---

**注意:** 生徒はクライアントのメニューから[コマンド][チャット]を選択することでチャットを開始することができます。

---

### 画面受信中に生徒とチャットをする

1. 画面受信ウィンドウの[ツール][チャット]を選択します。
2. チャットウィンドウがコントロールとクライアントのコンピュータに表示されます。

### チャットを終了するには

1. チャットウィンドウのメニューから[閉じる]を選択します。

---

**注意:** EdClass は「環境依存文字」には対応していません。「環境依存文字」が含まれるファイル名、フォルダ名をファイル転送する場合や、チャットやメッセージ機能でそれらの文字を使用する場合、文字化けなどの問題が発生する可能性があります。「環境依存文字」のご使用にはご注意ください。

---

## 生徒にメッセージを送信する

特定の生徒、あるいは生徒全員にメッセージを送信できます。

### メッセージを送信するには

1. メッセージを送信したい生徒を選択します。
2. 右クリックして[メッセージ]を選択します。  
または  
コントロールウィンドウのメニューから[クライアント][メッセージ]を選択します。  
または  
コントロールツールバーのメッセージアイコンをクリックします。
3. メッセージダイアログが表示されます。接続中の全生徒、または選択中の生徒にメッセージを送信するか選択します。
4. 送信をクリックします。メッセージがクライアント画面に表示されます。ダイアログをユーザーが閉じるか一定時間が過ぎるまでメッセージは表示されます。



## 画面受信中にメッセージを送信する

1. ビューウィンドウのメニューから[クライアント][メッセージ]を選択します。
2. メッセージ送信ダイアログが表示されます。
3. メッセージを入力します。
4. 送信をクリックします。

メッセージは先生が受信中の生徒の画面に表示されます。  
生徒が OK をクリックするまで表示されます。

### 電源管理

消費電力は発熱、エネルギー消費の増加に大きく影響します。

EdClass for Mac は電源管理機能を使用して、システムの消費電力を低減することが可能です。

### スリープ中の生徒機の電源を入れる

EdClass 先生コンソールは、スリープ中の生徒機の電源をオンにすることが可能です。この機能を有効にするには、生徒が先生コンソールから認識可能であり、次に準拠している必要があります。

- 生徒の電源をオンにするには、システム環境設定 > 省エネルギー にて、「ネットワークアクセスでスリープを解除」を有効にする必要があります。電源オンは Mac がスリープ状態の時のみ機能します。完全に電源がオフの場合は、ネットワークアダプタが無効になります。

1. 電源を入れたい生徒機を選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから {生徒} {電源管理 - 電源オン} を選択します。  
または  
コントロールツールバーの管理アイコンをクリックして電源オンを選択します。
3. 生徒のワークステーションの電源が投入されます。



### 生徒機の電源を切る

電源管理機能を使用して、生徒のワークステーションをリモートから安全に電源オフにすることが可能です。

1. 生徒のワークステーションが開いているアプリケーションが、すべて閉じていることを確認してください。
2. 電源を切りたい生徒機を選択します。
3. メニューから{生徒}{電源管理 - 電源オフ}を選択します。  
または  
ツールバーの電源管理アイコンをクリックして電源オフを選択します。  
または  
ツールバーに{電源オフ}アイコンがある場合は、それをクリックします。
4. 生徒のワークステーションの電源がオフになります。

### 生徒を再起動またはログアウトする

授業の終了時などに、接続していた生徒機やグループの生徒機をリモートログオフすることが可能です。

#### クライアントを再起動またはログアウトするには

1. クライアントまたはグループを選択します。
2. メニューから[生徒]{再起動またはログアウト}を選択します。  
または、  
ツールバーの再起動またはログアウトアイコンをクリックします。  
または  
選択したクライアントで右クリックし、再起動またはログアウトを選択します。
3. メッセージが表示されたら、[再起動] または [ログアウト] するクライアントを確認します。
4. [はい]をクリックして操作を続行します。

#### 画面受信中にクライアントを再起動またはログアウトするには

1. ビューウィンドウのメニューから[クライアント][再起動またはログアウト]を選択します。
2. メッセージが表示されたら、[再起動] または [ログアウト]するクライアントを確認します。
3. [はい] をクリックして操作を続行します。

---

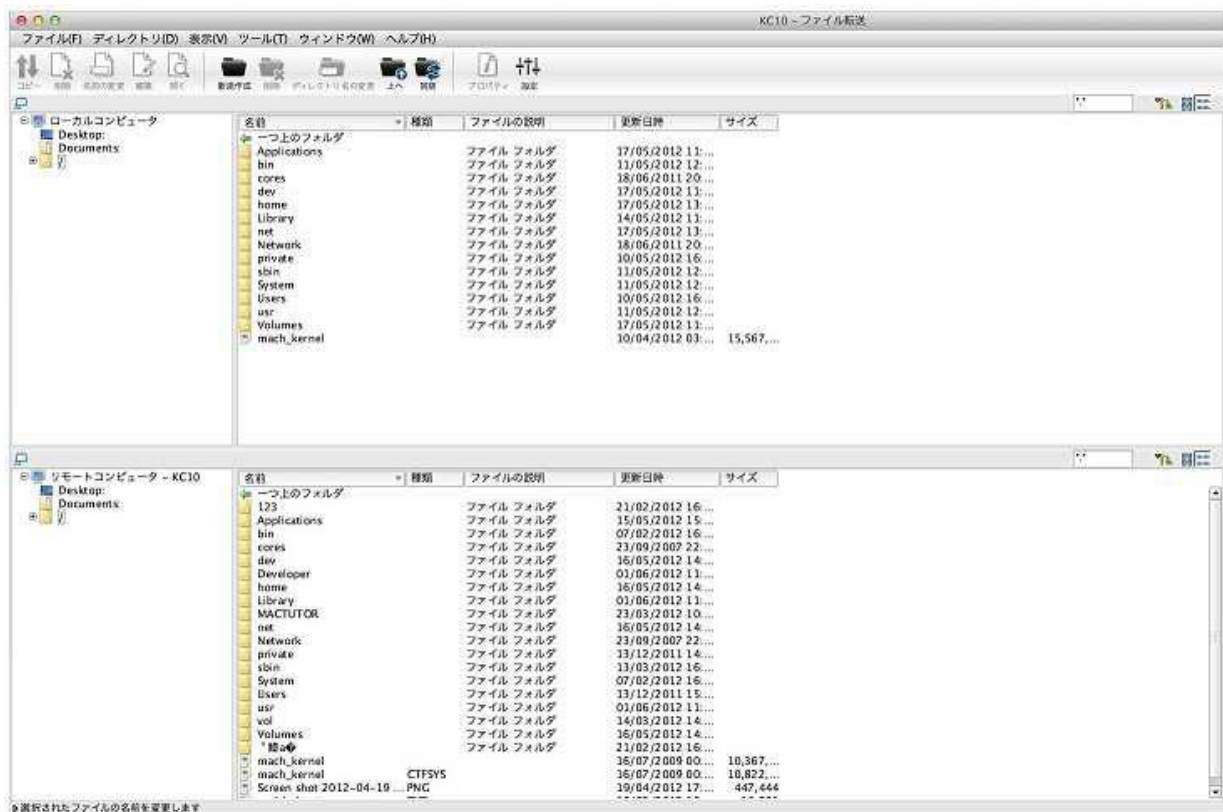
**注意:** 再起動はログアウトしている生徒では機能しません。

---

## ファイルを転送する

EdClass for Mac には、コントロールとクライアントコンピュータ間でファイルを転送できる機能が含まれています。

**注意：** ファイル転送機能は、ファイル転送ウィンドウのメニューから、[表示][ファイル転送の設定]を選択することで構成を設定することが可能です。



### 先生機から生徒機にファイルやフォルダをコピーする

1. ビューリストで生徒機を選択します。
2. ツールバーのファイル転送アイコンをクリックします。  
または  
メニューから[生徒][ファイル転送]を選択します。  
または  
選択したクライアントアイコンを右クリックしてファイル転送を選択します。  
または  
クライアントの画面を受信中の場合は、ビューウィンドウのツールバーでファイル転送を選択します。
3. ファイル転送ウィンドウが表示されます。
4. 先生機のツールバーでコピー先のドライブ、ディレクトリを選択します。
5. 先生機にコピーするファイルを先生機のリストから選択します。

6. [ファイルコピー] アイコンをクリックします。
7. 確認画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

---

**注意:** 先生機のビューリストから生徒機のビューリストのドライブやディレクトリへファイルやフォルダをドラッグ & ドロップしてコピーすることも可能です。

---

### 生徒機から先生機にファイルやフォルダをコピーする

1. ビューリストにて対象の生徒を選択します。
2. ツールバーのファイル転送アイコンをクリックします。  
または  
メニューで{生徒}{ファイル転送}を選択します。  
または  
選択したクライアントを右クリックしてファイル転送を選択します。  
または  
クライアントの画面を受信中の場合は、ビューウィンドウのツールバーからファイル転送を選択します。
3. ファイル転送ウィンドウが表示されます。
4. 先生機のツリービューでコピー先のドライブ、ディレクトリを選択します。
5. 先生機にコピーするファイルを生徒機のリストから選択します。
6. [ファイルコピー] アイコンをクリックします。
7. 確認画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

---

**注意:** 先生機のビューリストから生徒機のビューリストのドライブやディレクトリへファイルやフォルダをドラッグ & ドロップしてコピーすることも可能です。

---

### 生徒間でファイルを転送する

ファイル転送は生徒間のファイルやフォルダをコピーすることも可能です。それぞれの各生徒機に接続し、それぞれのファイル転送ウィンドウを表示しておきます。

ファイル転送画面を見やすいように配置し、クライアント間のファイルとディレクトリをドラッグ & ドロップします。

ファイルとディレクトリを参照するには境界線を移動するか生徒ディレクトリツリーの上部にある最大化ボタンをクリックしてください。

### ファイルやフォルダを削除する

ファイル転送ウィンドウをつかってコントロールまたはクライアントからファイルやフォルダを削除することが可能です。

1. 削除したいファイルを選択します。
2. ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されたら、「はい」をクリックします。

### フォルダを削除するには

1. 削除したいフォルダを選択します。
2. ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。
3. 「フォルダの削除」ダイアログが表示されます。
4. 「内容(中身)を含む」チェックボックスを選択します。
5. 「はい」をクリックします。

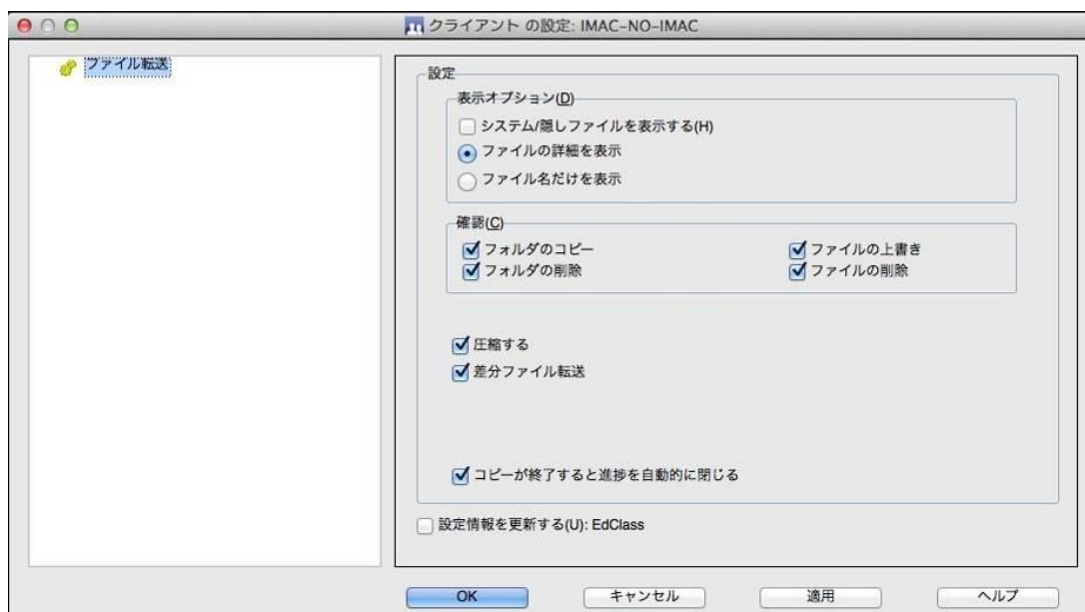
---

**注意:** 1 度に複数のフォルダを削除できません。「削除」操作を実行時に一覧表示で複数のフォルダを選択した場合、最後に選んだフォルダだけが削除されます。

---

## 先生コンソールのファイル転送設定

ファイル転送の設定を構成することが可能です。ファイル転送ウィンドウのメニューから、[表示][設定 - ファイル転送]を選択するか、ツールバーの設定アイコンをクリックします。ここでは、情報の表示方法を変更したり、危険な操作を実行する前に確認するなどの安全機能を設定することが可能です。



### 表示オプション

#### システム/隠しファイルを表示する

システムおよび隠し属性を持つすべてのファイルを表示するには、このボックスにチェックを付けます。デフォルトでは、このオプションはオフになっています。

#### ファイルの詳細を表示

一覧表示内の各ファイルの情報を複数の列で表示します。これらはファイルのサイズと更新日を表示します。ファイル転送のユーザーインターフェースの表示スタイルボタンを使用して、この状態とファイル名だけの状態に切り替えることができます。

#### ファイル名だけを表示

ファイル一覧にファイル名だけを表示するには、このオプションを選択します。ファイルの詳細よりも、より多くのファイルを同時に表示することが可能です。

### 確認

フォルダやファイルを削除するような危険を伴うファイル操作を実行するときに、コントロールに確認ダイアログボックスを表示させることが可能です。これによりデータの偶

発的な消失を防ぐことができます。ユーザーインターフェースに精通している場合は、必要に応じてこれらのオプションをオフに出来ます。デフォルトでは、すべての確認設定がオンになっています。

### フォルダのコピー

フォルダ構造をコピーする前に、ユーザーに確認します。

### フォルダの削除

フォルダ構造を削除する前に、ユーザーに確認します。

### ファイルの上書き

チェックが付いている場合、既存のファイルを上書きする前に確認ダイアログが表示されます。チェックがついていない場合でも、システム/隠しファイルが上書きされる場合は、確認メッセージが引き続き表示されます。

### ファイルの削除

1つまたは複数のファイルを削除する前に確認ダイアログが表示されます。

### 圧縮する

ファイル転送、画面受信、チャットにかかわらず、クライアントと送受信されるデータを圧縮します。データも暗号化される為、1つのセキュリティの手段にもなります。

### 差分ファイル転送

差分ファイル転送は、変更されていない情報の転送をスキップすることでパフォーマンスを向上させます。転送されるファイルが既に送り先のフォルダに存在する場合は、ファイルの変更部分だけが更新されます。

差分ファイルは、デフォルトで有効になっています。

### 優先順位(同時に画面受信している場合)

同時にクライアント画面の表示とファイルを転送している場合は、それぞれの操作は、他のパフォーマンスに影響を与えます。画面受信の反応をよくさせるには、ファイル転送操作の優先順位を減らします。クライアントの画面を表示していない場合は、この設定は無視されます。

### コピーが完了すると進捗を自動的に閉じる

完了時にファイル転送の進捗ダイアログを自動的に閉じます。ファイル転送の結果を確認したい場合は、このオプションのチェックを外します。

### 教材の配布と回収

教材の配布/回収機能はドキュメント単体または複数のドキュメントを接続しているすべてのクライアントに送信することが可能です。また、授業中に生徒が使用したそれらの教材をレッスン終了時に自動的に回収することも可能です。

### 教材を配布する

生徒に教材を配布するには、2通りの方法があります。

- **クイック配布**      接続中の生徒全員または特定のグループの生徒に教材を配布します。1回限りの操作に便利です。
- **拡張配布**      定期的に行う操作のプロパティを保存できます。

### 教材をクイック配布する

1. メニューから{ファイル}{教材の配布/回収}{クイック配布}を選択します。  
または  
コントロールツールバーの配布/回収アイコンをクリックしてクイック配布を選択します。
2. クイック配布ダイアログが表示されます。
3. 生徒に送信するファイルをリストに入力します。ファイルはフルパスやオプションとしてワイルドカードの指定を含みます。';'で区切って複数の指定を含めることができます。  
または  
参照をクリックしてファイルの場所を指定します。
4. ファイルをコピーする生徒のコンピュータのフォルダを指定します。必要な場合は、新規フォルダを作成します。
5. 配布 をクリックします。
6. 操作の結果が表示され、ファイルが正しく配布されたか確認できます。



### 拡張配布で教材を配布する

1. コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][教材の配布/回収 - 拡張]を選択します。  
または  
コントロールツールバーの配布/回収アイコンをクリックしアドバンスを選択します。
2. 教材の配布/回収ダイアログが表示されます。



3. 一覧から操作内容を選択して教材の配布をクリックします。生徒選択ダイアログが表示されます。  
または  
新規をクリックして新しい配布/回収内容を作成します。

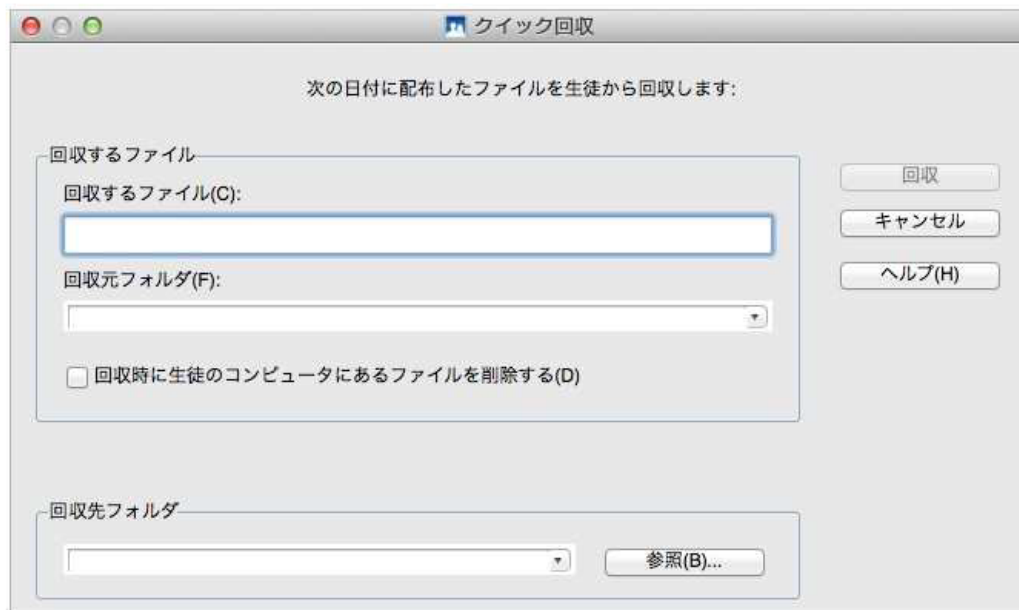
## 教材を回収する

生徒コンピュータから教材ファイルを回収する方法は 2 通りの方法があります。

- クイック回収      クイック配布した教材が記憶されていて、授業の最後などに素早く簡単に教材を回収できます。
- 拡張回収          事前に定義した配布/回収操作の一覧から回収するファイル(複数可)を選択でき、より柔軟に設定可能です。

## 教材をクイック回収する

1. コントロールウィンドウのメニューから{ファイル}{教材の配布/回収}{クイック回収}を選択します。  
または  
ツールバーの[配布/回収] アイコンをクリックして [教材の回収] を選択します。  
または  
{教材回収}アイコンがある場合は、それをクリックします。
2. クイック回収ダイアログが表示されます。



3. 回収するファイルを指定します。例: \*.\*または test1.text;test2.text
4. ファイルが保存されているフォルダを指定します。例: /TEMP や回収後に生徒機からフォルダの削除も行えます。

5. 回収したファイルを保存する先生コンソールのフォルダを指定します。  
例: /TEMP
6. 回収 をクリックします。
7. 操作の結果が表示され、ファイルが正しく回収されたか確認できます。

### 拡張回収で教材を回収する

1. メニューから{ファイル}{教材配布/回収}{拡張}を選択します。  
または  
ツールバーの [配布/回収] アイコンをクリックして [アドバンス] を選択します。
2. 教材の配布/回収ダイアログボックスが表示されます。
3. 一覧から選択して、[教材の回収] をクリックします。
4. 生徒選択ダイアログが表示されます。ファイルを回収する生徒を選択します。
5. OK をクリックします。
6. 操作の結果が表示され、ファイルが正しく回収されたか確認できます。

### 配布/回収操作のプロパティを変更する

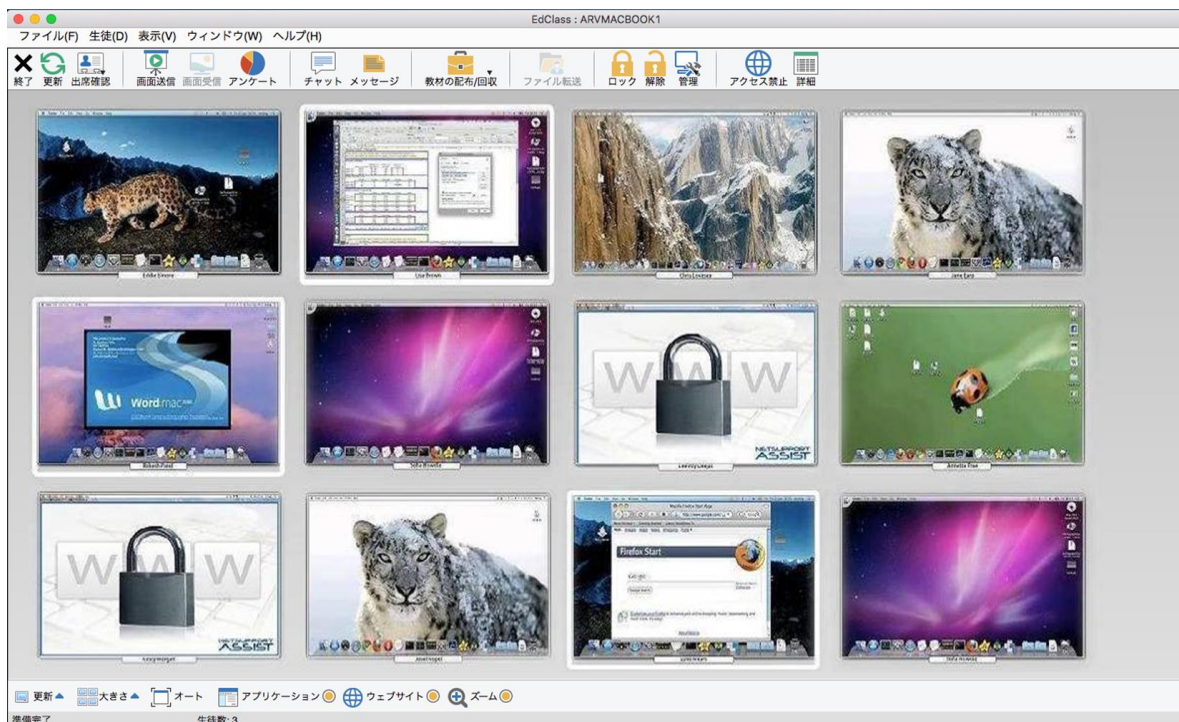
教材の配布/回収作業の情報(説明やファイルの場所など)を、ダイアログボックスで管理することが可能です。

1. コントロールウィンドウのメニューバーから{ファイル}{教材の配布/回収}{拡張}を選択します。  
または  
ツールバーの [配布/回収] アイコンをクリックして [アドバンス] を選択します。
2. [教材の配布/回収] ダイアログボックスが表示されます。
3. 一覧から作業を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。プロパティダイアログが表示されます。
4. 内容を変更後、[OK] をクリックします。

## ウェブ監視

接続されている生徒たちが閲覧しているウェブサイトを監視することが可能です。

**注意：** すべての生徒たちに対してインターネットのアクセスを遮断することができます。コントロールツールバーのアクセス禁止アイコンを選択します。



1. コントロールウィンドウのメニューから[表示][ウェブサイトの表示]を選択します。または、コントロールウィンドウ下部にあるウェブサイトアイコンをクリックします。
2. 現在の生徒の使用状況を知らせるアイコンが、生徒の縮小画面の右上に表示されます。

リストビューが詳細表示の場合は、生徒機で閲覧しているすべてのウェブサイトのリストも表示可能です。

### インターネットへのアクセスを制限 / 禁止

接続されているすべての生徒たちに対して、インターネットのアクセスを制限することが可能です。

#### すべてのウェブアクセスを遮断する

1. ツールバーのアクセス禁止アイコンをクリックします。  
または  
コントロールウィンドウのメニューから{生徒}{インターネットを遮断}を選びます。
2. すべての生徒に対してウェブアクセスが遮断されます。

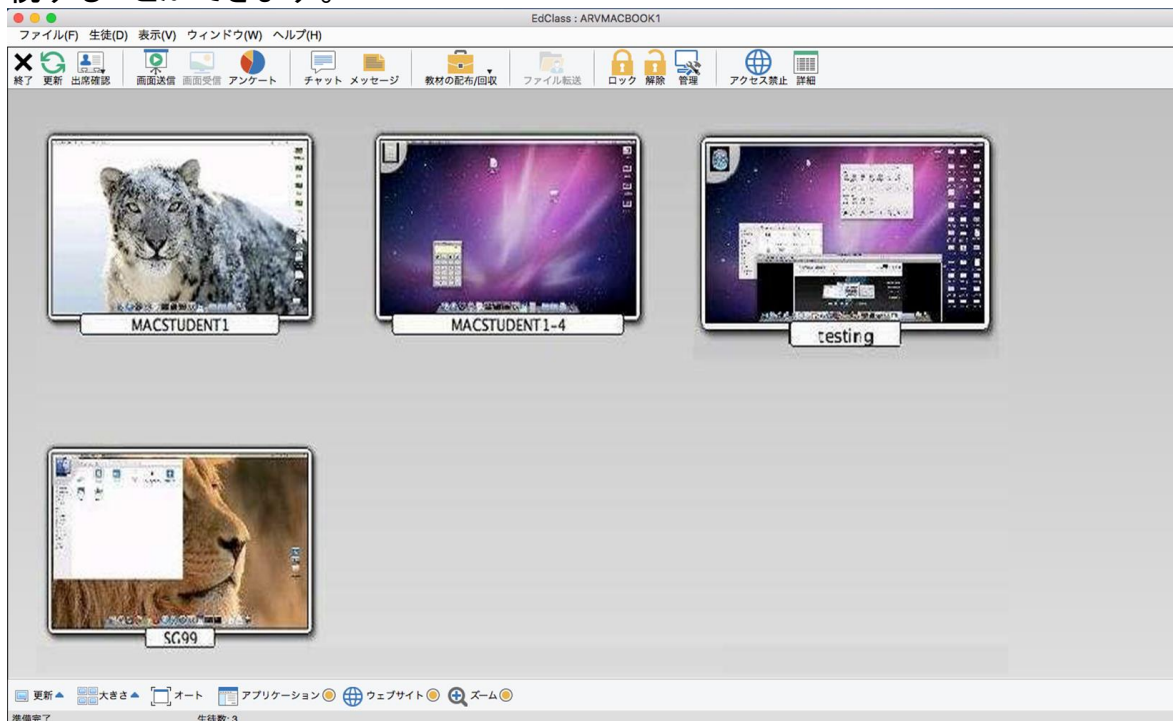
---

**注意:** 詳細モードまたはアンケートモードでは、インターネットの使用が中断されていることを確認するために、生徒アイコンの隣にインジケータが表示されます。

---

## アプリケーションの監視

アプリケーションの管理画面は、接続中の生徒が使用しているアプリケーションを監視することができます。



### 生徒のコンピュータで現在実行中のアプリケーションを特定する

リストビューの生徒アイコンを数種類の異なる方法で表示することができます。[表示][縮小画面モード/ 詳細モード]を選択するか リストビューを右クリックして表示オプションを選択して生徒アイコンのレイアウトを変更します。

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示]{アプリケーションの表示}を選びます。  
または  
コントロールウィンドウの下部にあるアプリケーションアイコンをクリックします。
2. 生徒機で現在アクティブになっているアプリケーションを示すアイコンが各縮小画面の左上に表示されます。

一覧表示が「詳細モード」の場合、生徒機で実行中のすべてのアプリケーションの一覧も表示可能です。

名前	アドレス	ユーザー名	現在のアプリケーション	起動中のアプリケーション	現在のウェブサイト	すべてのウェブサイト
MACSTUDENT1	>10.20.0.100:5405 (mac...	testing				
MACSTUDENT1-4	>10.20.0.233:5405 (mac...	testing	Calculator			
MACSTUDENT25-IM	>10.20.0.124:5405 (mac...	testing	Apple			
SG99	>10.20.0.234:5405 (sg99)	testing	NetSupportAssist		Apple [http://www.apple	

### アンケート

アンケートツールは先生が授業終了時に生徒から簡単な意見を回収するためのツールです。先生は接続中の生徒に質問と予め用意した回答の選択肢を送信します。生徒の回答は先生に回収され、全体のパーセンテージまたは生徒単体の回答の結果を表示します。

---

**注意:** アンケートはログアウトしている生徒では機能しません。

---

#### 生徒にアンケートを送信するための基本手順:

1. コントロールウィンドウのメニューから[生徒][アンケート]を選択します。  
または  
ツールバーからアンケートアイコンを選択します。
2. アンケートを実施する生徒を選択します。リストビュー内の全生徒、選択した生徒、グループが対象になります。
3. ボックス内に質問を入力します。
4. 質問の回答を選択します。既定のリストから選択するか、自分で回答を入力することができます。カンマで区切って最大 6 つの選択肢を入力することができます。
5. コントロールウィンドウのメニューから[表示][送信]を選択して生徒にアンケートを送信します。  
または  
アンケート画面下部の送信ボタンをクリックします。生徒のコンピュータに問題と回答が表示されます。生徒は自分で回答を選択して返信します。
6. 生徒が回答を提出すると、アンケート結果ウィンドウに各回答のパーセンテージを表示します。クライアントアイコンは各生徒が何を答えたか確認できます。
7. アンケートが完了したら、コントロールウィンドウのメニューから[表示][キャンセル]を選択して画面から削除します。  
または  
アンケート画面下部に表示されているキャンセルアイコンをクリックします。

---

**注意:** アンケートは生徒が回答した、しないに関わらず全コンピュータからクリアされます。

---

### アンケート結果を生徒に表示する

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示][結果を生徒に表示]を選択します。  
または、コントロールウィンドウ下部の結果アイコンをクリックします。
2. 生徒の画面には結果が円グラフで表示されます。

---

**注意:** アンケートの結果は、生徒が自分の回答を提出した場合にだけ表示され  
ます。

---

### アンケート結果を保存する

アンケートは CSV ファイルに保存できます。

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{表示}{結果を保存}を選択し  
ます。  
または アンケート画面下部の[保存]アイコンをクリックします。



### アンケートリスト

アンケートはアンケートリストに追加することで再使用が可能です。デフォルトのリスト名は EdClass.sul です。異なるタイプの質問をカテゴリ別に管理したい場合はオリジナルのリストを作成することができます。

#### アンケートリストを作成する

1. アンケート表示に切り替えるには、ツールバーのアンケートアイコンをクリックします。
2. コントロールウィンドウのメニューから[表示][新規作成]を選択します。  
または  
アンケート画面下部に表示されている新規アイコンをクリックします。
3. ファイル名を入力して作成をクリックします。
4. 新しいアンケートがリストに追加されます。

#### アンケートリストを開く

1. アンケートビューでコントロールウィンドウのメニューから[表示][開く]を選択します。  
または、  
アンケート画面下部の開くアイコンをクリックします。
2. リストを選択して開く をクリックします。

#### アンケートリストを使用する

開いたアンケートリストに新しい質問や以前保存した質問や回答を管理することができます。

#### アンケートリストに新しい質問を追加するには

1. アンケート画面で質問を入力してドロップダウンリストから回答を選択します。  
または  
デフォルトの回答が適切でない場合は新しい選択肢を追加します。
2. 生徒にアンケートを送信します。アンケートは自動的にリストに保存されます。  
または  
コントロールウィンドウのメニューから[表示][リストに追加]を選択します。  
または  
アンケート画面下部の[追加]アイコンをクリックして問題と回答を保存します。

### 既存のアンケートを使用するには

1. アンケート画面で質問の追加/選択アイコン(緑の+)をクリックします。質問ダイアログが表示されます。
2. リストから質問を選択して OK をクリックします。
3. アンケート画面に生徒に送信可能な質問が表示されます。

### 質問と回答を管理する

既存のアンケートを選択できるだけでなく、質問選択ダイアログは新しい質問/回答の追加や既存の質問/回答を編集することもできます。

1. アンケートリストに質問がない場合は、ボックス内に新しい質問と回答を入力して追加をクリックします。

または

既存の質問を編集するには、リストから選択して質問と回答を変更して追加をクリックします。

---

**注意:** 質問を変更押した場合、オリジナルの追加としてリストに追加されます。  
回答だけを変更した場合はオリジナルを上書きします。

---

2. アンケートの質問を使用するには、リストから選択して OK をクリックします。
3. アンケート画面に生徒に送信可能な質問が表示されます。

---

**注意:** アンケートでカスタマイズした回答を使用している場合、その質問にのみ有効です。他のアンケートでもその回答を使用したい場合は、リストに追加する必要があります。管理をクリックすると、回答管理ダイアログが表示されます。必要な回答を入力して追加をクリックします。

---

### 生徒のコンピュータの設定を行う

生徒機を設定するときは、クライアント設定プログラムを起動します。

クライアント設定には 3 つのオプションがあります:

#### 一般

部屋モードを使用時にクライアントの接続先を指定します。

#### ユーザーインターフェース

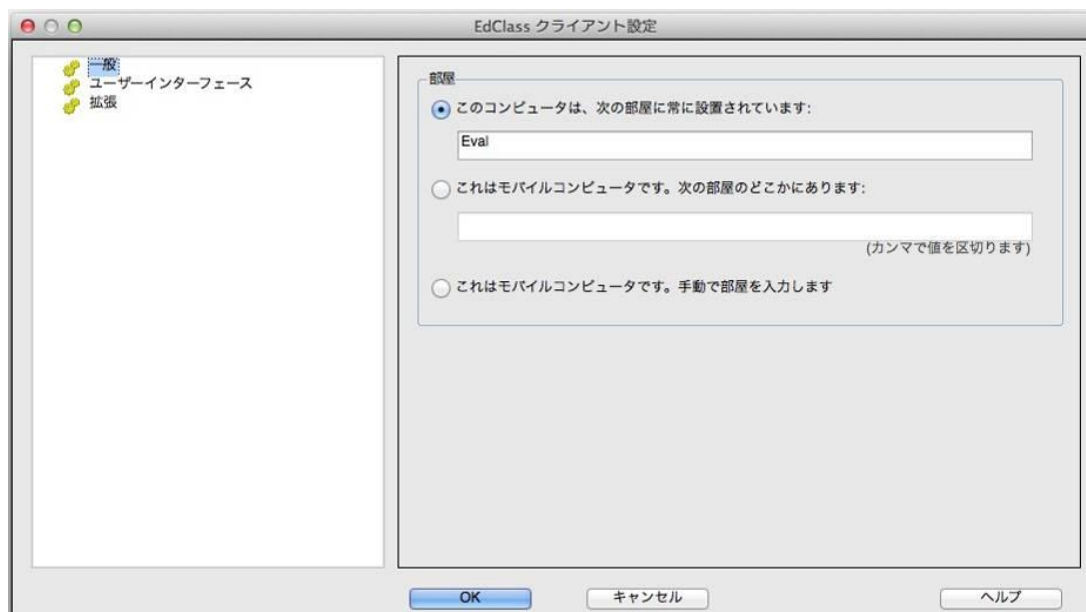
先生と生徒のインターフェースをカスタマイズします。

#### 拡張

クライアント用のネットワークプロトコルを設定できます。コントロール側と同じ設定でなくてはなりません。

## 一般設定

部屋モードで接続するときの生徒用の部屋の設定を指定できます。



**このコンピュータは、次の部屋に常に設置されています：**

生徒用コンピュータが常に同じ教室に設置されている場合は、このオプションを選択し、教室名を入力します。

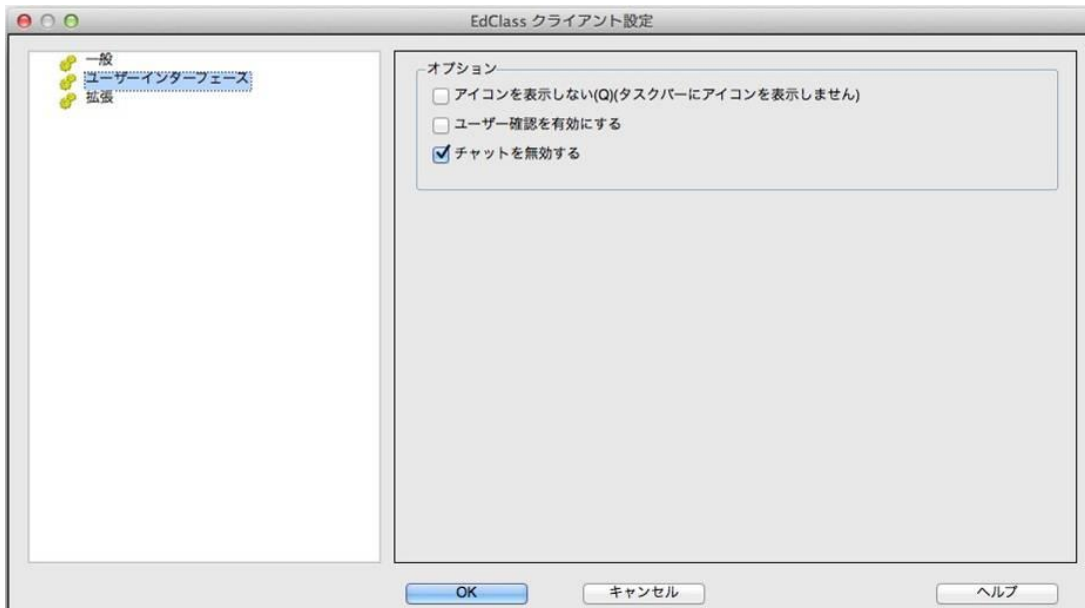
**これはモバイルコンピュータです。次の部屋のどこかにあります：**

生徒用コンピュータが異なる部屋に設置されていた場合はこのオプションを選択し、複数の教室名をカンマで区切って入力します。

**これはモバイルコンピュータです。手動で部屋を入力します**

モバイルコンピュータを使用している場合はこのオプションを選択します。生徒はタスクバーにある生徒アイコンから教室を手動で入力できます。

## ユーザーインターフェース設定



### オプション

#### アイコンを表示しない

このボックスにチェックをすると生徒プログラムは起動していても生徒のコンピュータにはアイコンが全く表示されません。生徒が誤って生徒プログラムを実行したり、手動でプログラムを停止してしまうことを防ぎます。

#### ユーザー確認を有効にする

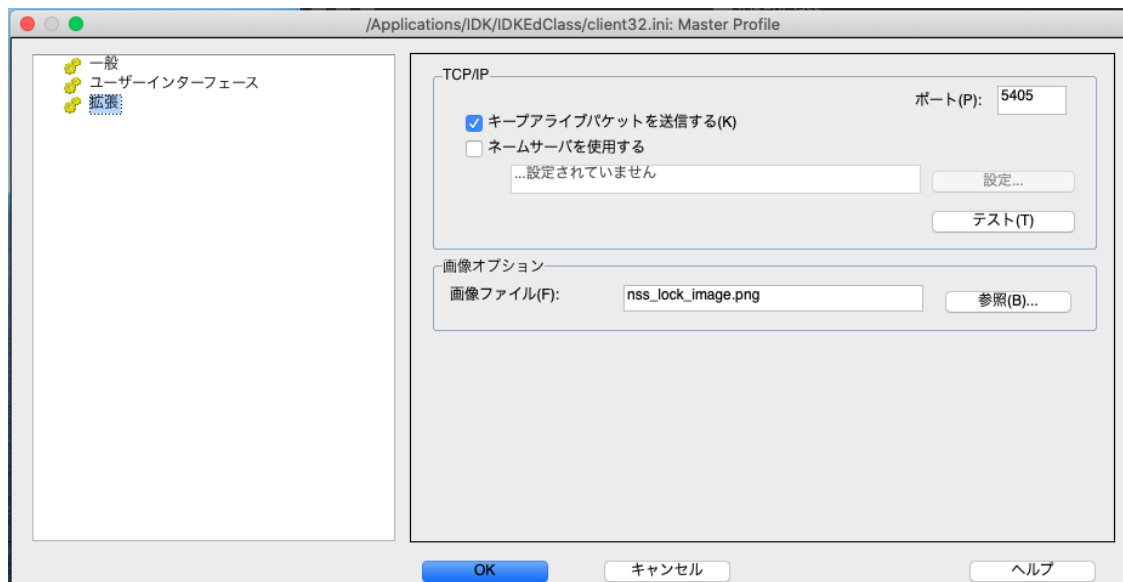
有効時は生徒が接続を許可しない限り、先生はリモートコントロールを行うことができません。

#### チャットを無効にする

チャット機能を使用不可にします。

## 拡張設定

拡張設定を使用することで、クライアントのネットワークポートを設定することができます。コントロールで設定した内容と同じでなければなりません。



### TCP/IP

#### ポート

TCP/IP プロトコルでは、通信するアプリケーションにポート番号が割り当てられていなくてはなりません。EdClass for Mac のデフォルトの登録ポート番号は 5405 です。

#### キープアライブパケットを送信する

TCP のスタックには、定期的にチェックパケットを送信して、接続エラーを検出しているものがありますが、ご使用の環境によっては、これを無効にしたほうが良い場合があります。例えば、生徒機が ISDN 回線を使って接続する場合、チェックパケットが送信される度に回線が接続されてしまうと不経済です。そのような場合は、このボックスのチェックを外します。

#### ネームサーバを使用する

開始時に生徒の現在の IP アドレスを「EdClass 接続 サーバー/ゲートウェイ」に登録したい場合は、このオプションを有効にします。「構成」をクリックして、一致するセキュリティキーと一緒に接続するサーバーの IP アドレスを入力してください。

---

**注意：** Windows 版 EdClass のインストーラを使用して、ネームサーバを、Windows コンピュータにインストールする必要があります。

---

### 画像オプション

#### 画像ファイル

生徒のキーボードとマウスをロック中はデフォルトイメージ( nss\_lock\_image.png ) が画面に表示されます。イメージファイルを変更して表示させることができます。

---

**注意:** 画像を表示しない場合は、コントロールウィンドウのメニューから[ファイル][環境設定 - ユーザーインターフェース]を選択してキーボードとマウスのロック中は**ブランク画面を適用する** を選ぶことでオプションを無効にします。

---

## 先生コンソールを設定する

先生コンソールの設定を行うには、コントロールウィンドウのメニューから、[ファイル][環境設定]を選択します。

先生コンソールの設定は 4 つのオプションがあります。

### 生徒の選択

先生コンソール起動時に生徒が接続する部屋を設定できます。

### ネットワーク設定

先生コンソールが生徒機との通信に使用するネットワークプロトコルを設定します。生徒機と同じプロトコルを選択してください。先生の名前や説明を設定することもできます。

### パフォーマンス

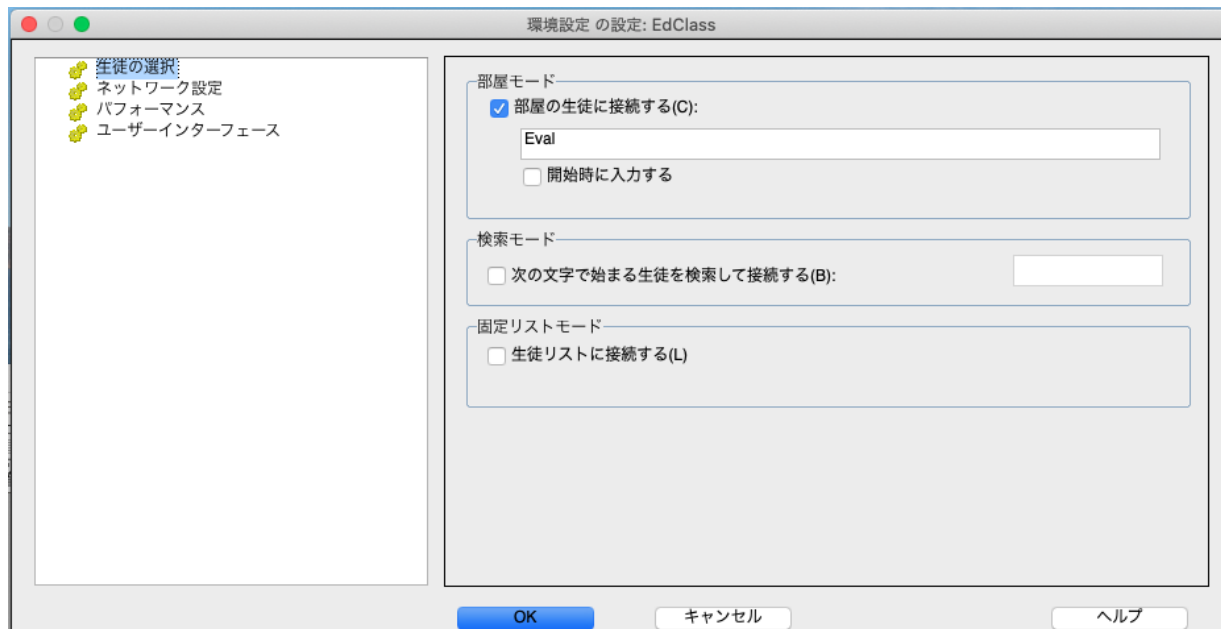
画面受信または画面送信を実行するときに、ネットワーク上で送信されるデータ量を下げするための停滞域設定を設定することができます。

### ユーザーインターフェース

コントロールとクライアント間でオプションをカスタマイズできます。

## 生徒の選択

先生コンソール開始時やそれぞれのモードにおいて、接続する生徒の設定を行います。



### 部屋モード

#### 部屋の生徒に接続する

特定の教室にあるコンピュータと接続を可能にします。接続したい教室を指定します。

#### 開始時に入力する

先生プログラムの開始時に教室を指定するようにします。

---

**注意:** 教室の設定は、生徒側のクライアント設定で行えます。

---

### 検索モード

#### 次の文字で始まる生徒を検索して接続する

指定した文字列で始まる全生徒に接続されます。見つかった生徒の情報は、生徒リストに保存されます。

### 固定リストモード

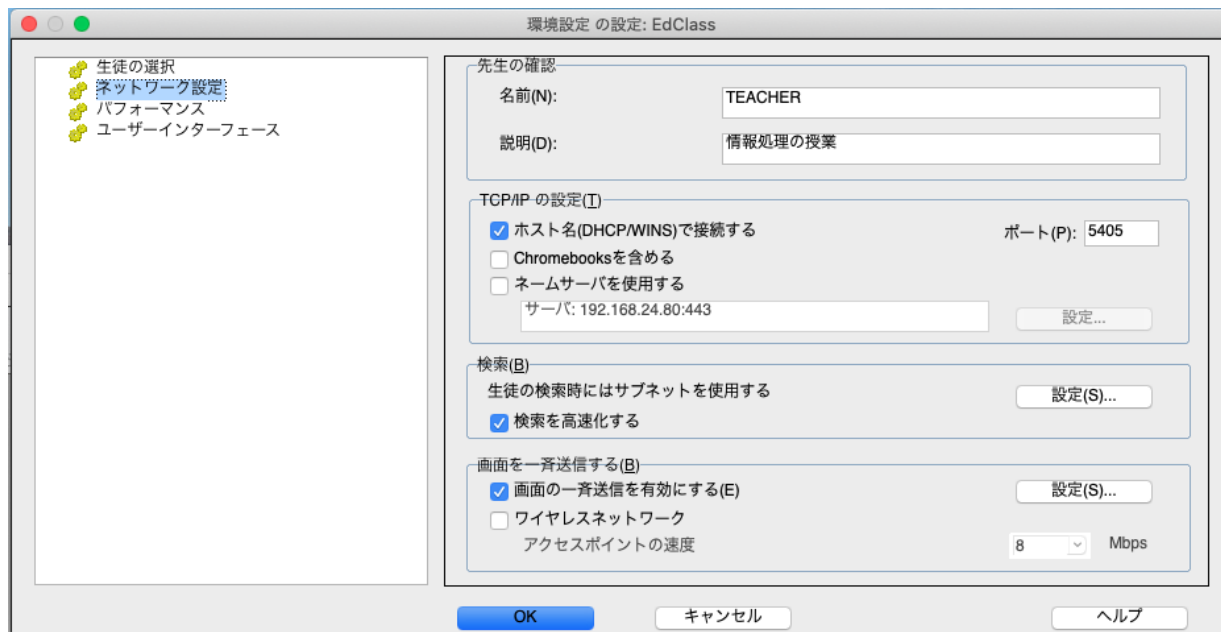
#### 生徒リストに接続する

このボックスをチェックすると、生徒リストにある生徒のみ接続します。



## ネットワーク設定

先生コンソールが生徒機との通信に使用するネットワークプロトコルを設定します。生徒機と同じプロトコルを選択してください。先生の名前や説明を設定することもできます。



### 先生の確認

これらの設定を使用することで、先生を個人使用に設定できます。

### 名前

ネットワークで先生を識別するための名前を設定します。アスタリスクを設定すると、コンピュータ名になります。

### 説明

先生に関する説明を設定します。生徒のタイトルバーに表示されます。

### TCP/IP の設定

#### ホスト名(DHCP/WINS)で接続する

通常、先生はホスト名ではなく、IP アドレスを使って生徒に接続します。DHCP が使われている環境では、生徒が再起動するときに IP アドレスが変更される場合があります。このボックスにチェックしておくと、先生はホスト名を使って生徒に接続するようになります。

### ポート

TCP/IP では、通信を行うアプリケーションにポート番号が割り当てられている必要があります。EdClass for Mac のデフォルト登録ポート番号は 5405 です。

---

**注意:** ルーターをお使いの場合は、このポート番号を使ってデータの通信ができるように設定されていることを確認してください。

---

### Chromebooks を含める

Chromebook の生徒に接続するためには、この項目にチェックを入れた上で、ネームサーバをインストールして、EdClass を設定する必要があります。

### ネームサーバを使用する

- 1.[設定] をクリックします。
- 2.ゲートウェイのアドレス、ポート番号、セキュリティキーを入力します。これはネームサーバで設定されたものと同一でなければなりません。
- 3.[OK] をクリックします。
- 4.部屋モードまたは生徒一覧の編集を使用して Chromebook の生徒を検索できるようになります。

### 検索

#### 生徒の検索時にはサブネットを使用する

複数のサブネットやアドレスを使用しているネットワーク環境ではブロードキャストアドレスを設定します。ブラウズ時にブロードキャストメッセージが全アドレスに送信されます。

#### 検索を高速化する

クライアントの検索や接続を高速にします。既定で有効になっています。

#### 画面の一斉送信を有効にする

先生画面を生徒に送信する時、画面情報は各生徒に順番に送られます。画面の一斉送信を有効にすると、画面情報は全コンピュータに一斉送信されます。回線が制限されているネットワーク環境や大多数のコンピュータで画面送信を行う場合にパフォーマンスを発揮します。

EdClass for Mac が生成したネットワークトラフィックは軽減しますが、ブロードキャストパケットを追加生成します。この機能を使用する場合は、必ずネットワーク管理者に確認してください。

### 設定

画面の一斉送信が有効にする場合は、設定ボタンを選択してブロードキャストアドレスを設定します。同一サブネット上で複数の先生が一斉にUDP/ブロードキャストを使用する場合、競合しないように異なるポートを使用してください。

### 無線ネットワーク

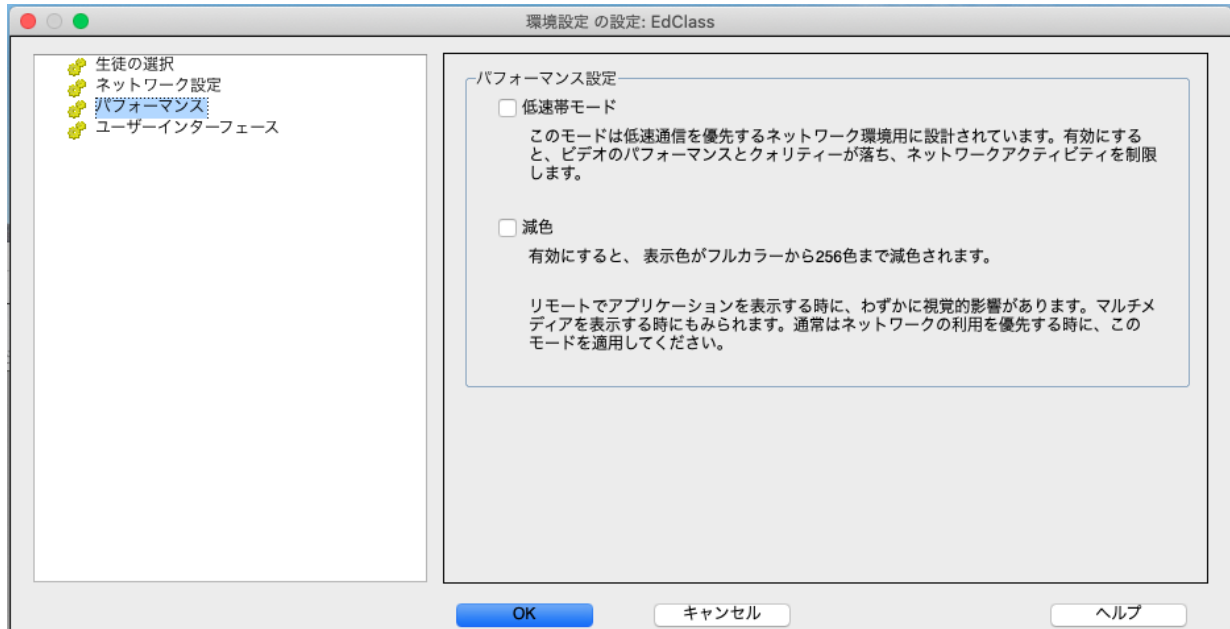
ワイヤレスネットワーク上での画面送信パフォーマンスを最適化するには、このオプションにチェックを入れます。

### アクセスポイントの速度

お使いのワイヤレスアクセスポイントに最適なデータ通信レートを選択します。

## パフォーマンス

ネットワーク環境が低速である場合でも、これらのオプションを使用することで、EdClass for Mac のパフォーマンスを向上させることが可能です。



### 低速帯モード

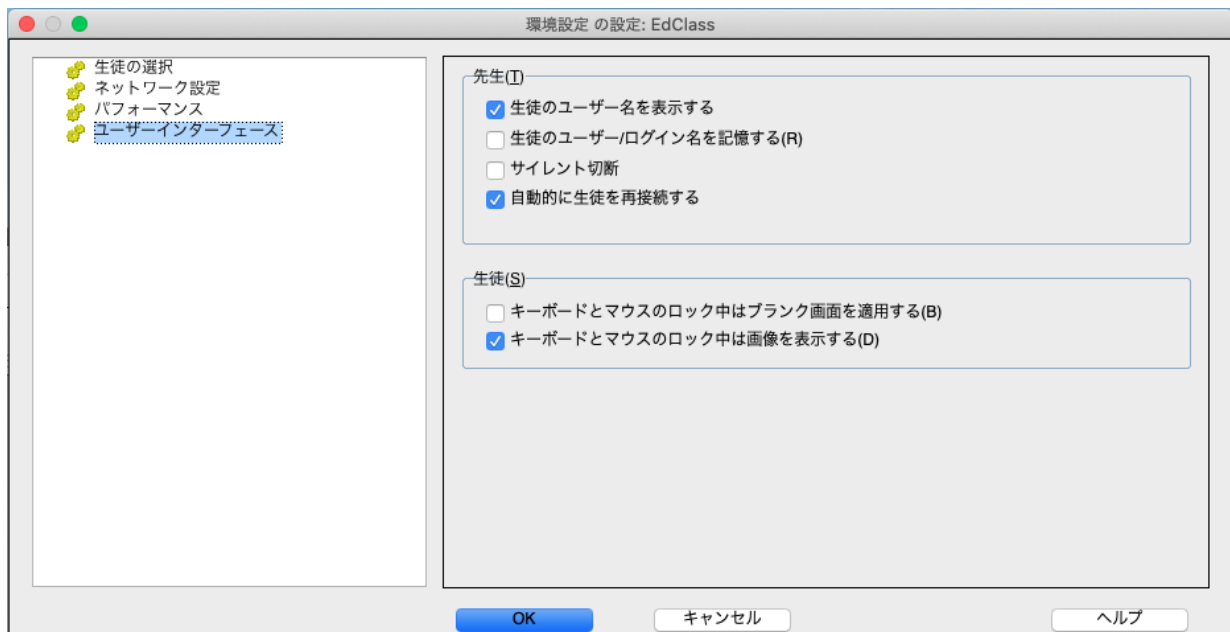
画面の受信や送信などで転送する動画、画像のクオリティーを抑えることで、ネットワークの負荷を軽減します。

### 減色

有効にすると、表示色がフルカラーから 256 色まで減色されます。

リモートでアプリケーションを表示する時に、わずかに視覚的影響があります。マルチメディアを表示する際にもみられます。通常はネットワークの利用を優先する時に、このモードを適用してください。

## ユーザーインターフェース



### 先生

#### 生徒のユーザー名を表示する

出席確認を実行時にクライアントのログイン名を取得してコントロールウィンドウに表示させる場合は、このオプションにチェックをしてください。

#### 生徒のユーザー/ログイン名を記憶する

生徒リストの生徒のユーザー/ログイン名を保存する場合はこのオプションにチェックをします。

#### サイレント切断

セッション中にコントロールからクライアントが誤って切断すると、先生コンソールにメッセージが表示されます。この表示を無効にする場合は、このオプションにチェックをします。

#### 自動的に生徒を再接続する

生徒が誤って切断してしまった場合、自動的にリモートコントロールセッションに再接続します。

### 生徒

**キーボードとマウスのロック中はブランク画面を適用する**

キーボードとマウスをロックした時に、クライアントの画面をブランクにします。

**キーボードとマウスのロック中は画像を表示する**

キーボードとマウスをロックした時に、クライアントの画面に画像を表示します。クライアント設定 - 拡張 ダイアログでファイルの保存先を指定して画像を変更できます。

### お問い合わせ先

製品のお問い合わせ先につきましては、EdClass 製品パッケージ内に同封されている「保守サービス証書」をご確認いただくか、ご購入いただいた販売店様へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

---

EdClass for Mac インストール/操作ガイド

株式会社 アルバニクス  
〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1

※ 記載されている社名、商品名は各社の商標または登録商標です

---





